

Satera MF4680

かんたん送信ガイド 設定から使い方まで



SEND Lite 機能

Scan to ファイルサーバ機能 Scan to E-Mail 機能

Scan to USB 機能

商標および著作権について

商標について

Canon、Canon ロゴおよび Satera はキヤノン株式会社の商標です。 Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。 Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の 米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

Copyright© 2007 Canon Inc. All rights reserved.

キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段(電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式/手段を含む)をもっても、 本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピュー タ言語への変換などをすることはできません。

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、また は特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかな る種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的 に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害ま たは費用についても、責任を負うものではありません。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、スキャンした文書をパソコンに保存したり、電子メールに添付して送信したりする、 便利な機能を備えており、これらの機能を総称して「SEND Lite」と呼んでいます。 SEND Lite 機能は、本製品をネットワーク環境に接続し、パソコン側の共有フォルダの設定や 本体側のネットワーク項目など、複数の項目を設定することで、はじめて利用できるようになり ます。

本書では、この SEND Lite 機能を利用するための設定について、設定の流れを順序立てて解説す るとともに、「各項目にどんな情報を設定すればよいのか」をできるだけわかりやすくまとめて います。

設定に必要な情報を書き留めておく「チェックシート」を巻末に用意していますので、ぜひこち らもお役立てください。

また、本書では、スキャンした文書を本製品に接続した USB メモリに保存し、USB メモリを経由 して手軽にパソコン側に取り込める、「Scan to USB」機能についても解説しています。

SEND Lite 機能や Scan to USB 機能を使用する際は、ぜひ本書をご活用ください。



はじめに	1
目次	2
SEND Lite/Scan to USB 機能とは	4
SEND Lite 機能とは	4
Scan to ファイルサーバ機能	4
Scan to E-Mail 機能 Scan to USB 機能とは	4 5
SEND Lite 機能が使えるようになるまで	6
ネットワーク環境を確認しよう	7
「本書で想定するネットワーク環境について」	7
設定前に必要な情報を確認しよう	9
Scan to ファイルサーバ機能に必要な OS を確認する	9
Scan to E-Mail 機能に必要な情報を確認する	.10
電子メールアカワントを確認する	.11
ネットワークケーブルを接続しよう	14
IP アドレスを設定しよう	15
IP アドレスの設定を確認する	.15
リモート UI を使おう	18
リモート UI を使用するには	.18
リモート UI の起動方法	.19
Scan to ファイルサーバ機能を使ってみよう	21
コンピュータ名と共有フォルダ設定に必要な機能を確認する	.22
コンビュータ名を確認する	.22
	.24

共有フォルダを設定する	28
アクセス制限をしない共有フォルダを設定する	30
アクセス制限をする共有フォルダを設定する	37
詳細なアクセス許可について	55
ファイルサーバ送信機能を設定する	57
宛先を登録する(ファイルサーバ)	63
宛先の登録内容を表示/修正するには	67
登録した宛先を削除するには	69
ファイルサーバへ送信する	70
受信したファクスを取引先別にファイルサーバに保存する	74
Scan to E-Mail 機能を使ってみよう	76
電子メールの送信機能を設定する	77
宛先を登録する(電子メールアドレス)	83
宛先の登録内容を表示/修正するには	87
登録した宛先を削除するには	89
電子メールを送信する	90
電子メールの受信を確認するには	94
電子メールを受信するには	95
Scan to USB 機能を使ってみよう	97
Scan to USB 機能を使用する前に	97
USB メモリに文書を保存する	97
困ったときには	101
ネットワークに接続できない	101
リモート UI を起動できない	101
電子メールを送信したが、送信先で受信できない	101
電子メールの設定を忘れてしまった	101
本製品のディスプレイにエラーメッセージが表示された	102
共有フォルダにファイルを保存できない	102
エラー送信レポートがプリントされた	108
索引	116
チェックシート	118

SEND Lite/ Scan to USB 機能とは

SEND Lite 機能とは

以下に説明する2つの機能を総称して、「SEND Lite」機能と呼びます。

Scan to ファイルサーバ機能

スキャンした文書を、ネットワーク上の共有フォルダに保存する機能です。 見積書など定期的に発生する文書をデータとしてバックアップしたいときや、プロジェクトに関 する情報をスタッフで共有したいときなどに便利な機能です。Scan to ファイルサーバ機能の設 定から使用までの流れについては、「SEND Lite 機能が使えるようになるまで」(→ P.6)を参照し てください。



Scan to E-Mail 機能

パソコンを使わずに、スキャンした文書を電子メールに添付して、本製品から送信する機能で す。あらかじめ相手先の電子メールアドレスを登録しておけば、簡単な操作で電子メールに添付 して送信できます。

急いで資料を取引先に送信しなければならないときや、社内のスタッフにデータとして送りたい 紙文書があるときなどに便利な機能です。Scan to E-Mail 機能の設定から使用までの流れについ ては、「SEND Lite 機能が使えるようになるまで」(→ P.6)を参照してください。



Scan to USB 機能とは

スキャンした文書を USB メモリに保存する機能です。

スキャンした文書は、パソコンを介さずに直接 USB メモリに保存できます。そのため、会議や 打ち合わせの資料をデータ化して持ち運びたいときなどに便利な機能です。

Scan to USB 機能の使用に、ネットワークの設定は必要ありません。使用方法については、「Scan to USB 機能を使ってみよう」(→ P.97)を参照してください。





SEND Lite 機能が使用できるようになるには、いくつかの手順が必要です。以下に設定完了までの流れをまとめましたので、確認しておきましょう。



∕⊘メモ

リモート UI とは、Internet Explorer などのウェブブラウザから、本製品の各種設定をする機能です。 リモート UI を使用すると、本製品の操作パネルを操作するより、簡単に素早く設定することができます。



本製品は、ネットワーク環境での利用に必要な情報を、DHCP を使用して自動取得するように初 期設定されているため、IP アドレスなどを設定する必要はありません。 IP アドレスを固定で使用する場合は、ネットワーク管理者から IP アドレスなどの情報を取得し てください。

社内LAN



DHCP とは

パソコンからインターネットに接続するために必要な IP アドレスなどの情報を、自動的に割り当てるための通信プロトコルです。DHCP を使用すると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNS アドレスを自動的に設定することができます。

P.7 のネットワーク構成例では、ルータが DHCP サーバとなり、本製品や LAN 内のパソコンに、IP アドレスなどの情報が自動的に設定されていることを想定しています。

∕⊘メモ

DHCP で本製品に IP アドレスを自動設定している場合、本製品やルータ(DHCP サーバ)を再起動する と、本製品の IP アドレスが変わってしまうことがあります。その場合は、再起動後に IP アドレスを確認 しなおすか、または、DHCP 環境下でも特定の IP アドレスを固定できる「手動割り当て」機能や「固定割 り当て」機能など(ルータのメーカによって機能名は異なります)を使用して、再起動後も IP アドレス が変わらないようあらかじめ設定しておくことをおすすめします。

ネットワーク環境を確認したら、「設定前に必要な情報を確認しよう」(→ P.9) に進んでください。

設定前に必要な情報を 確認しよう

実際に SEND Lite 機能の設定をはじめる前に、必要な情報がそろっているかを確認しておきましょう。

Scan to ファイルサーバ機能に必要な OS を確認する

スキャンした文書をファイルとして保存するには、以下の OS のいずれかがインストールされた パソコンが必要です。

- Microsoft Windows 98/98SE 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server ServicePack4 以降日本語版
- Microsoft Windows 2000 Professional ServicePack4 以降日本語版
- Microsoft Windows XP Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows Vista 日本語版

∕⊘メモ

本書では、上記対応 OS のうち、Windows XP Professional 日本語版 /Windows XP Home Edition 日本語版 と Windows Vista 日本語版を取り上げて、共有フォルダの設定方法を解説しています。

Scan to ファイルサーバ機能に必要な OS を確認したら、「ネットワークケーブルを接続しよう」 (→ P.14) に進んでください。

Scan to E-Mail 機能に必要な情報を確認する

Scan to E-Mail 機能を使って、本製品からスキャンした文書を送信するだけなら、現在使用して いる電子メールアカウントをそのまま本製品に設定してもかまいません。 この場合、設定には以下の情報が必要になります。

● SMTP サーバアドレス: 電子メールを送信する際に使用するサーバアドレスです。

● 認証方式:

以下の2つの認証方式をサポートしています。 (インターネットプロバイダによっては、認証が必要ない場合もあ ります。)

・ SMTP 認証

SMTP サーバでユーザ名とパスワードを確認したあと、電子 メールを送信する認証方式です。

• POP before SMTP

ー度 POP サーバにアクセスし、POP アドレスと POP パスワー ドを確認してから電子メールを送信する認証方式です。プロバ イダがこの認証方式を採用している場合は、電子メール送信機 能の設定に加えて、電子メール受信機能の設定が必要になりま す。電子メール受信機能の設定については「電子メールを受信 するには」(→ P.95)を参照してください。

∕∕∕∀モ

現在使用している電子メールアカウントを本製品に設定すると、ふだん使っている電子メールソフトでは なく、本製品が電子メールを受信してしまうことがあります。そのため、本製品の電子メール受信機能を 使用する場合は、現在使用している電子メールアカウントとは別に、本製品用の電子メールアカウントを 設定する必要があります。電子メール受信機能の設定については「電子メールを受信するには」(→ P.95) を参照してください。



SMTP サーバとは

電子メールを送信するためのサーバです。 パソコンの電子メールソフトから送られた電子メールは、いったん SMTP サーバに集められます。

POP サーバとは 電子メールを受信するためのサーバです。 電子メールを受信するときは、電子メールソフトを使って POP サーバに接続し、そこから自分宛の電子

メールを取り出します。

プロバイダによっては、POP サーバと SMTP サーバは同じことがあります。

電子メールアカウントを確認する

現在使用している電子メールアカウントを本製品に設定する場合、設定に必要な情報は、ふだん 使っている電子メールソフトで確認できます。

ここでは、Outlook Express 6.x(Windows XP に標準搭載されている電子メールソフト)を例に、 電子メールアカウントの確認手順を説明します。

∕⊘メモ

Windows メール(Windows Vista に標準搭載されている電子メールソフト)でも、同様の手順で電子メールアカウントを確認できます。

Outlook Express 6.x の場合

- 1. Outlook Express 6.x を起動します。
- **2.** [ツール] メニューの [アカウント] を選択して、「インターネットアカウント」画面を表示します。

インターネット アカウン	2F		?×
すべて メール ニュ	ース ディレクトリ サービス		 (A) and Bit
アカウント	種類	接続	削除(<u>R</u>)
seaccount1	メール (既定)	使用可能な接続	プロパティ(P)
			既定(2設定(0)
			インポートの
			エクスポート(E)
			順番の設定(S)
			(開ける)

- **3.** [メール] タブをクリックします。
- **4.** 使用中のアカウントを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックして、[<アカウント名>の プロパティ] 画面を表示します。
- 5. [サーバー] タブをクリックします。

6. [送信メール (SMTP)] に入力されている SMTP サーバ名を確認します。

	🖀 account1 のプロパティ	?×
	全般 サーバー 接続 七 サーバー情報 受信メール サーバーの種類 受信メール サーバーの種類 受信メール (POP3)(): 送信メール (SMTP)(U):	2キュリティ 詳細設定 類(M): POP3 pop.company.com
	受信メールサーバー 一 アカウント名(Q): パスワード(P):	account1 ******** デパスワードを保存する(W) たパスワードをの存する(S)
SMTP 認証を使用して いる場合は、チェック <u>–</u> マークが付いています。	送信メールサーバー 逆信メールサーバー 「「このサーバーは認証が。	
		OK キャンセル 適用(A)

∕⊘メモ

- ・ POP before SMTP の場合や認証の必要がない場合は手順9に進んでください。
- SMTP 認証の場合は手順 7 に進んでください。

ここで確認した情報は、Scan to E-Mail 機能の設定に必要です。 忘れないように、巻末のチェックシート(→ P.118)に必要な情報をメモしておきましょう。

7. [送信メールサーバー] の [設定] ボタンをクリックして、[送信メールサーバー] 画面を表示します。

8. [アカウント名] (SMTP サーバのユーザ名)を確認します。

送信メール サーバー	?×
ログオン情報 〇 受信メール サーバー ③ 次のアカウントとパスワ	と同じ設定を使用する(U) フードでログオンする(O)
アカウント名(2):	account1
パスワード(<u>P</u>):	
□セキュリティで保護	☑バスワードを採存する(W) されたパスワード認証でログオンする(S)
	OK キャンセル

∕⊘メモ

- 入力したパスワードは通常「***」と表示されるため、画面上では確認ができません。入力したパ スワードは、プロバイダから発行された設定通知書などで確認してください。
- 契約しているプロバイダが、認証方式に POP before SMTP を採用している場合は、電子メール受 信機能の設定情報も必要になります。電子メール受信機能の設定については「電子メールを受信 するには」(→ P.95)を参照してください。

✓ チェック ここで確認した情報は、Scan to E-Mail 機能の設定に必要です。 忘れないように、巻末のチェックシート(→ P.118)に必要な情報をメモしておきましょう。

- **9.** 確認が終了したら、[キャンセル] ボタンをクリックして、[送信メールサーバー] 画面を閉じます。
- 10. [キャンセル] ボタンをクリックして、[<アカウント名>のプロパティ] 画面を閉じます。
- 11. [閉じる] ボタンをクリックして、[インターネットアカウント] 画面を閉じます。

Scan to E-Mail 機能に必要な情報を確認したら、「ネットワークケーブルを接続しよう」(→ P.14) に進んでください。

ネットワークケーブルを 接続しよう

P.13 までを読んで、設定の流れや必要な情報を把握したら、実際に設定を始めましょう。最初 は、ネットワーク環境への接続です。 以下の手順で、ネットワークケーブルを本製品に接続してください。

 本製品背面の 10Base-T/100Base-TX ポートに、LAN ケーブル(カテゴリ 5 対応のツイスト ペアケーブル)の一方を接続します。ケーブルのもう一方を、ルータまたはハブに接続しま す。



2. 本製品側面の主電源スイッチの [1] を押して電源を入れます。

以上で、ネットワークケーブルの接続が完了しました。 次に「IP アドレスを設定しよう」(→ P.15)に進んでください。



本製品をネットワークに接続したら、次は IP アドレスを設定しましょう。本製品に IP アドレス を設定することで、ネットワーク上のパソコンと通信できるようになります。

IP アドレスは、自動または手動で設定できますが、本書では、DHCP(→P.8)で IP アドレスが 自動設定されるネットワーク環境を前提にしています。本製品の初期設定では、DHCP で IP アド レスが自動取得されるようになっているため、ネットワークケーブルを接続してしばらく待つだ けで、IP アドレスの設定が完了します。

本製品に IP アドレスが正しく設定されているかどうか、以下の手順にしたがって確認してください。

∕⊘メモ

固定で IP アドレスを割り当てているネットワークに本製品を接続する場合は、本製品の IP アドレスを手動で設定する必要があります。設定方法については、*スタートアップガイド「IP アドレス取得設定」*を参照してください。

IP アドレスの設定を確認する

以下の手順で、IP アドレスが正しく設定されているかどうかを確認してください。

∕⊘メモ

- 部門 ID 管理やユーザ ID 管理を行っている場合は、部門 ID やユーザ ID の入力を要求されることがあり ます。詳細は、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合編)「第8章システム管理設 定」を参照してください。
- ・ IP アドレスの確認は、本製品の起動後、1 分以上待ってから行ってください。

1. [初期設定/登録]を押します。

∕⊘メモ

本製品がスリープモードの状態になっている場合、LCD ディスプレイには何も表示されず、[節電] キーがグリーンに点灯しています。その場合、[節電]キーを押し、スリープモードから復帰させて ください。



2. [◄-] または [+ト] を押して<システム カンリ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

3. [◄-] または [+▶] を押して<ネットワーク セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

システム カンリ セッテイ 5.ネットワーク セッテイ

4. [◄-] または [+>] を押して< IP アドレス カクニン>を選択し、[OK] を押します。

ネットワーク セッテイ 6.IPアト゛レス カクニン 5. [◄-] または [+▶] を押して< IP アドレス>、<サブネット マスク>または<ゲート ウェイアドレス>を選択し、[OK] を押します。

正しく設定されている場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが 表示されます。



∕⊘メモ

DHCP で本製品に IP アドレスを自動設定している場合、本製品やルータ(DHCP サーバ)を再起動 すると、本製品の IP アドレスが変わってしまうことがあります。その場合は、再起動後に IP アドレ スを確認しなおすか、または、DHCP 環境下でも特定の IP アドレスを固定できる「手動割り当て」 機能や「固定割り当て」機能など(ルータのメーカによって機能名は異なります)を使用して、再 起動後も IP アドレスが変わらないようあらかじめ設定しておくことをおすすめします。

▼ チェック

ここで確認した IP アドレスはリモート UI の起動時に必要になります。忘れないように、巻末の チェックシート (→ P.118) に IP アドレスをメモしておきましょう。

6. [ストップ/リセット]を押して待受画面に戻ります。

● IP アドレスが表示されない場合

手順5でIPアドレスが表示されない場合は、IPアドレスの設定が完了していません。この場合、まず、 ネットワークケーブルが正しく接続されているかどうか確認し、続いてルータが DHCPでIPアドレスを 割り当てるように設定されているかを確認します。

もし、物理的な接続やルータの設定に問題がない場合は、いったん本製品の主電源スイッチを切ります。 10 秒後に主電源スイッチを入れなおしたあと、約1分待ってから、もう一度 IP アドレスを確認してくだ さい。

これらをすべて確認しても、まだ IP アドレスが表示されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

次に「リモート UI を使おう」(→ P.18)に進んでください。

リモート UI を使おう

リモート UI を利用すると、Internet Explorer などのウェブブラウザから、ネットワーク経由で 本製品に関するさまざまな設定が行えます。

本書では、本製品の電子メールの設定や、スキャンした文書の送信先となる宛先の設定などを、 リモート UI による設定で説明しているため、ここでリモート UI の基本操作を覚えておきましょ う。

- ファイルサーバ送信機能の設定(→ P.57)
- 宛先(ファイルサーバ)の登録(→ P.63)
- 電子メール送信機能の設定(→ P.77)
- 宛先の登録(電子メールアドレス)(→ P.83)

リモート UI を使用するには

リモート UI を使用して、ネットワーク経由で本製品を設定するには、パソコン側に以下の OS お よびウェブブラウザが必要です。

• OS

- Microsoft Windows 98/98SE
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Vista

● ウェブブラウザ

- ・Microsoft Internet Explorer 5.01 ServicePack1 以降
- ・Netscape Communicator/Navigator 6.0 以降、ただし Netscape Communicator 6 は除く

リモート UI の起動方法

リモート UI は、以下の手順で起動します。

∕⊘メモ

実際にリモート UI を起動して本製品の設定を行うのは、ファイルサーバ送信機能の設定(→ P.57)や電子メール送信機能の設定(→ P.77)からです。ここでは、まだリモート UI を起動する必要はありません。

- 1. Internet Explorer などのウェブブラウザを起動します。
- 2. アドレスバーに「http://(本製品の IP アドレス)」と入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。



リモート UI 画面が表示されます。

∕⊘メモ

- アドレスバーに IP アドレスを入力する際には、P.17 で確認した IP アドレスの先頭から連続する「0」を削除して入力してください。ただし、「000」の場合は、「0」の入力が必要です。
 例:192.168.000.008 → 192.168.0.8
- ・DHCPで本製品にIPアドレスを自動設定している場合、本製品やルータ(DHCPサーバ)を再起動すると、本製品のIPアドレスが変わってしまうことがあります。その場合は、再起動後にIPアドレスを確認しなおすか、または、DHCP環境下でも特定のIPアドレスを固定できる「手動割り当て」機能や「固定割り当て」機能など(ルータのメーカによって機能名は異なります)を使用して、再起動後もIPアドレスが変わらないよう、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。

3. [管理者モード] を選択し、[パスワード] には何も入力しないで、[OK] ボタンをクリックします。

本製品の設定によっては、 パスワードや ID の入力を要求されることがあります。その場合 は、設定されているパスワードや ID を入力してください。

	<i>れて、リモートUI</i>	
	U王→トU Copyright CANON DNC. 2007 All Bather Benerved	
Contraction of the local division of the loc		
and the second s	W&s MF4980	
フリンタ:	◎ 目期可能です。	<u>e</u>
ファクス:	 	
言語表示の切替:	Japanese M	
Commenter III	現現してください。	
	設定やジョブの操作が可能です。	
〇一般ユーサモー このモードではデバイスや とき。 どうのフェーザぞき	く ジョブの情報問題が可能です。 シカストーネのドキーマートにつき ジョーの時代が100mmにつります。	
オーナー名:	CONTRACTOR DE DOTRI NO 4 BOCADIR 9 -	
		ОК
	Canon	

∕⊘メモ

システム管理暗証番号の設定や部門 ID、管理ユーザ ID 管理を行っている場合は、パスワードや部門 ID、ユーザ ID の入力が必要なことがあります。このような場合は、設定されているパスワード や部門 ID、ユーザ ID を入力してください。詳しくは、本製品に付属の CD-ROM に収録されている 操作ガイド (総合編)「第8章 システム管理設定」を参照してください。

次に、Scan to ファイルサーバ機能の設定をする場合は P.21、Scan to E-Mail 機能の設定をする 場合は P.76 に進んでください。

Scan to ファイルサーバ機能 を使ってみよう

本製品の IP アドレスの設定やリモート UI の起動方法が確認できたら、実際に SEND Lite 機能を 使ってみましょう。

ここでは、Scan to ファイルサーバ機能を使い、本製品でスキャンした原稿をネットワーク上の パソコン(ファイルサーバ)に保存する手順について説明します。 Scan to ファイルサーバ機能を使うには、以下の設定が必要です。

∕⊘メモ

- Windows 98/98SE/Me/2000/Server 2003 をお使いの場合の設定手順と宛先の登録については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合編)「第6章ネットワーク『ファイルサーバの設定』」を参照してください。
- 先に Scan to E-Mail 機能を使用したい場合は、P.76 を参照してください。



実際に、Scan to ファイルサーバ機能を使用してみましょう。

コンピュータ名と共有フォルダ設定に必要な機能を確認する

Scan to ファイルサーバ機能では、パソコンの共有フォルダにスキャンした文書をファイルとして保存するため、パソコン側の準備も必要です。

ここで説明する手順で、パソコンのコンピュータ名と、共有フォルダの設定に必要な機能がイン ストールされていることを、確認しておきましょう。

コンピュータ名を確認する

共有フォルダの設定と宛先の登録には、コンピュータ名が必要です。 以下の手順で、コンピュータ名を確認してください。

Windows XP の場合

- **1.** 管理者の権限で Windows にログオンします。
- **2.** デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択して、[システムのプロパティ] 画面を表示します。
- 3. [コンピュータ名] タブをクリックし、[コンピュータ名] ページを表示します。
- 4. [変更] ボタンをクリックします。
- 5. [コンピュータ名の変更] 画面で、[コンピュータ名] を確認します。

コンピュータ名の変更	?×
このコンピュータの名前とメンバシップを変更できます。変更する リソースへのアクセスに影響する可能性があります。	5とネットワーク
コンピュータ名(©): SWAN]
フルコンピュータ名:	
SWAN.canon	
_``\$\D\$`\J\$	≣羊組(<u>M</u>)
0 ドメイン(D):	
 ワークグループ(W): 	
WORKGROUP	
ОК	キャンセル

▼ チェック	
- ここで確認したコンピュータ名は、共有フォルダの設定と宛先の登録に必要です。忘れない	よう
に、巻末のチェックシート(→ P.118)にコンピュータ名をメモしておきましょう。	

6. [キャンセル] ボタンを繰り返しクリックし、画面を閉じます。

以上で、コンピュータ名の確認が終了しました。

次に「共有フォルダ設定に必要な機能を確認する」(→ P.24)に進んでください。

Windows Vista の場合

- **1.** 管理者の権限で、Windows にログオンします。
- 2. [スタート] メニューの [コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- 3. [システム] 画面で、[コンピュータ名] を確認します。

タスク ③ デバイス マネージャ(M) ③ リモートの設定(<u>B</u>) ③ システムの保護(Y) ③ システムの詳細設定(<u>A</u>)	コンピュータの基本的は情報の表示 Windows Gatton Windows Vatar [™] Enterprise Copyright © 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.		
	システム 評価:	ジェ Windows エクスペリエンス インデックス	
	プロセッサ:	AMD Athlon(tm) 64 X2 Dual Core Processor 3800+ 2.00 GHz	
	メモリ (RAM): システムの種類:	1022 HB 32 ビット オペレーティング システム	
	コンピュータ名、ドメインお	らよびワークグループの設定	
	コンピュータ名:	SWAN	
	フル コンピュータ名:	SWAN.canon	
	フル コンピュータ名: コンピュータの説明:	SWAN.canon	

▼ チェック

ここで確認したコンピュータ名は、共有フォルダの設定と宛先の登録に必要です。忘れないよう に、巻末のチェックシート(→P.118)にコンピュータ名をメモしておきましょう。

4. [システム] 画面を閉じます。

以上で、コンピュータ名の確認が終了しました。

次に、共有フォルダの設定に必要な機能がお使いのパソコンにインストールされているかどうかを確認します。P.26 に進んでください。

共有フォルダ設定に必要な機能を確認する

共有フォルダの設定に必要な機能が、お使いのパソコンにインストールされているかどうか、 以下の手順で確認します。

Windows XP の場合

[ローカルエリア接続のプロパティ]画面を表示します。
 ① [スタート]メニューの [マイネットワーク]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。

② [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

2. ファイル共有に必要な項目(ネットワークコンポーネント)がインストールされているか確認します。

以下のネットワークコンポーネントのすべてにチェックマークが付いていることを確認しま す。チェックマークがはずれている場合は、チェックマークを付けます。

- ・ [Microsoft ネットワーク用クライアント]
- ・ [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有]
- ・ [インターネットプロトコル (TCP/IP)]

- 0-1	いル エリア 接続のフロバティ
全般	認証 詳細設定
接続	方法:
H B	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
このお	続は次の項目を使用します(0):
	■ Microsoft ネットワーク用クライアント ■ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有 テインターネット プロトコル(TCP/IP)
Ē	
 - 説印	ンストール(M)
☑接	続時に通知領域にインバケータを表示する(W)
☑ 接	続が限られているか利用不可能な場合に通知する(M)
	OK ***

∕⊘メモ

各ネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、以下の手順でインストールし ます。

- [1ンストール] ボタンをクリックし、[ネットワークコンポーネントの種類の選択] 画面を表示 します。
 - [Microsoft ネットワーク用クライアント] がインストールされていない場合は、[クライアント] を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

次ページにつづく

前ページよりつづく

- [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有]がインストールされていない場合は、 [サービス]を選択し、〔追加〕ボタンをクリックします。
- [インターネットプロトコル (TCP/IP)] がインストールされていない場合は、[プロトコル] を 選択し、[追加] ボタンをクリックします。
- ②インストールしたいネットワークコンポートネントを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] がインストールされていない場合は、パソコンの IP アドレスの設定が必要になります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 3. [OK] ボタンを繰り返しクリックし、画面を閉じます。

4. 必要に応じてパソコンを再起動します。

以上で、共有フォルダの設定に必要な機能の確認が終了しました。

次に「共有フォルダを設定する」(→ P.28)に進んでください。

Windows Vista の場合

[ローカルエリア接続のプロパティ]画面を表示します。
 ① [スタート] メニューの [ネットワーク] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
 ② [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
 ③ [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

Windows Vista で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリック してください。

ファイル共有に必要な項目(ネットワークコンポーネント)がインストールされているか確認します。

以下のネットワークコンポーネントのすべてにチェックマークが付いていることを確認しま す。チェックマークがはずれている場合は、チェックマークを付けます。

- [Microsoft ネットワーク用クライアント]
- ・ [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有]
- ・ [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]

	リア投税リノロ	777			
*91-2-2 L					
接続の方法:					
💇 Broad	lcom NetXtreme	57xx Gigabit C	ontroller		
			ſ	構成(<u>C</u>)	
この接続は次	の項目を使用しま	す(_):			
🗹 🖷 Micr	osoft ネットワーク	用クライアント			
🗹 🚇 Mier	osoft ネットワーク	用ファイルとプリン	タ共有	J	
		. //=//3 / 611		n i	
	אבידעיק אייאייא אבידעיק	V 11 - 23 - 24 (1	OF/IFV4/	ע	
	IL(N)	削肥全(11)		プロパティ(R)	
1201 1888	// <u>1</u> /	HUMO D/		20/12/10/2	
伝送制御	プロトコル/インター	ネット プロトコル	、相互接続	まされたさまざま;	ta:
ネットワーク	間の通信を提供	する、既定のワイ	ドェリアネ	シトワーク プロ	63
100.90					
			閉じる	++	17

∕⊘メモ

各ネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、以下の手順でインストールし ます。

- ①[インストール] ボタンをクリックし、[ネットワークコンポーネントの種類の選択] 画面を表示 します。
 - [Microsoft ネットワーク用クライアント]がインストールされていない場合は、[クライアント]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

次ページにつづく

前ページよりつづく

- [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有]がインストールされていない場合は、 [サービス]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。
- 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」がインストールされていない場合は、
 「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

 ②インストールするネットワークコンポートネントを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] がインストールされていない場合は、パ ソコンの IP アドレスの設定が必要になります。設定については、ネットワーク管理者にお問い合 わせください。

- **3.** [OK] ボタンを繰り返しクリックし、画面を閉じます。
- 4. 必要に応じてパソコンを再起動します。

以上で、共有フォルダの設定に必要な機能の確認が終了しました。

次に「共有フォルダを設定する」(→ P.28)に進んでください。

共有フォルダを設定する

必要な機能がインストールされていることを確認したら、本製品からスキャンした文書をファイ ルとして保存するための共有フォルダを設定しましょう。 共有フォルダの設定には、以下の2つの方法があります。

● アクセス制限をしない共有フォルダ

ネットワーク上のパソコンでファイルを自由に共有したい場合は、「アクセス制限をしない共 有フォルダ」が便利です。

アクセス制限をしない共有フォルダには、ネットワーク内のすべてのパソコンがアクセスする ことができ、アクセス時にユーザ名やパスワードを指定する必要もありません。



● アクセス制限をする共有フォルダ

共有フォルダにアクセスできるユーザを区別したい場合は、「アクセス制限をする共有フォル ダ」が便利です。

このタイプの共有フォルダにアクセスするには、アクセス時に共有フォルダに設定されているアカウント(ユーザ名とパスワード)を指定する必要があります。アカウントを知らないと、共有フォルダにアクセスすることはできません。



∕⊘メモ

- ・Windows XP に Service Pack 2 がインストールされている場合やWindows Vista をお使いの場合に、 Windows ファイアウォールを有効にすると、設定によってはファイルやプリンタの共有を使用できな いことがあります。ファイル共有を使用できるようにするには、「困ったときには」の「Windows ファ イアウォールについて」(\rightarrow P.104)を参照してください。
- お使いのパソコンにセキュリティソフトがインストールされている場合、セキュリティソフトのファイ アウォール機能(外部からの不正なアクセスを遮断する機能)が、本製品から共有フォルダへのアクセ スを制限し、共有フォルダにデータを保存できないことがあります。詳細については、セキュリティソ フトに添付のマニュアルを参照してください。

アクセス制限をしない共有フォルダを設定する

ここでは、ネットワーク上のパソコンでファイルを自由に共有する方法について説明します。

Windows XP の場合

Windows XP Professional と Windows XP Home Edition では、簡易ファイル共有を使用して、ア クセス制限をしない共有フォルダを設定します。

∕⊘メモ

Windows XP Professional をお使いの場合で、簡易ファイル共有が無効になっているときは、以下の手順で有効にします。

- [スタート] メニューの [コントロールパネル] [フォルダオプション] の順に選択して、[フォルダ オプション] 画面を表示します。
- 「表示」タブを選択して、「表示」ページを表示します。
- ・ [詳細設定]の [簡易ファイルの共有を使用する(推奨)] にチェックマークを付けます。
- [OK] ボタンをクリックして、[フォルダオプション] 画面を閉じます。

1. 任意のドライブに、共有するフォルダを新規作成します。

フォルダは、Cドライブの直下など、わかりやすい場所に作成しておくことをおすすめします。 例:C:¥share

🕛 重要

フォルダ名には半角英数字を使用してください。

▼ チェック

ここで作成したフォルダ名は、宛先を登録する際に必要になります。忘れないように、巻末の チェックシート(→P.118)にフォルダ名をメモしておきましょう。

2. 作成したフォルダを右クリックします。

3. [共有とセキュリティ]を選択し、[<フォルダ名>のプロパティ] 画面を表示します。



4. [危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。] をクリックします。

shareのプロパティ ?×
全般共有カスタマイズ
- ローカルでの共有とセキュリティー
このフォルダをこのコンピュータのみを使うほかのユーザーと共有する には、フォルダを <u>共有ドキュンンド</u> フォルダにドラッグしてください。
このフォルダとそのサブフォルダをプライベートにし自分のみがアクセス できるようにするには、次のチェック ボックスをオンにします。
このフォルダをプライベートにする(M)
やちょりティオ美により、このコンピュータへのリモートアクセスは無 がになっています。ただし、ネットワークセットアップウィザード を実行してリモートアクセスと安全なファイル共有を有効にすること ができます。 た険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する 場合はこ。をクリックしてください。
共有とセキュリティの詳細を表示します。
OK キャンセル 適用(A)

∕⊘メモ

2回目以降は上記のメッセージは表示されません。この場合は手順6へ進んでください。

5. [ファイル共有の有効] 画面の [ファイル共有を有効にする] にチェックマークを付け、 [OK] ボタンをクリックします。



6. [ネットワーク上でこのフォルダを共有する] と [ネットワークユーザーによるファイルの 変更を許可する] にチェックマークを付けます。



7. [OK] ボタンをクリックし、[<フォルダ名>のプロパティ] 画面を閉じます。

以上で、共有フォルダの設定が完了しました。

次に「ファイルサーバ送信機能を設定する」(→ P.57)に進んでください。

Windows Vista の場合

Windows Vista では、ファイルの共有を前提とした特別なフォルダ(パブリックフォルダ)が 最初から用意されています。パブリックフォルダを使用して、アクセス制限をしない共有フォル ダを設定します。

∕⊘メモ

初期設定では、パブリックフォルダは Vista をインストールしたドライブ直下にある[ユーザー]フォル ダの下に作成されています。 ただし、宛先の[フォルダへのパス](→ P.65)にパブリックフォルダを指定する場合は、半角英数で指 定します。 例:¥Public¥share

● パブリックフォルダを共有する

- **1.** [スタート] メニューの [コントロール] パネルを選択し、[コントロールパネル] を表示します。
- 2. [ファイルの共有の設定]をクリックし、[ネットワークと共有センター]画面を表示します。



3. [ネットワークと共有センター] 画面で、[パブリック フォルダ共有] の横にある下向きの 矢印をクリックします。



4. [共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はファイルを開く、変更する、作成 することができるようにする]を選択し、[適用]をクリックします。

受 ● 単 《 ネットワークと共有センター		▼ ⁴ y 検索	د
タスク			フル マップを表示
コンピュータとデバイスの表 示			_ (
ネットワークに接続	SWAN	ネットワーク 2	インターネット
接続またはネットワークのセ	(このコンピュー	9)	
ットアップ	赤マトワーク 2(プライ	ベート ネットワーク)	カスタマイズ
ネットワーク接続の管理	アクセス	ローカルとインターネット	
診断と修復	1015	ローカル エリア接続	状態の表示
	18 共有と探索		
	ネットワーク探索	◎ 有効	۲
	ファイル共有	© 有効	
	パブリック フォルダ共有	◎ 無効	۲
1	パブリック フォルダが有 ファイルにアクセスでき ◎ 共有を有効にして、オ	効の場合、ネットワーク上のユーザー ; ます。 <u>//ブリック フォルダとは何ですか</u> :ットワーク アクセスがある場合はファ・	お(ブリック フォルダ内の ¹² イルを開くことができるよ
國建項目	 ※一下の(2) ※ 	ットワーク アクセスがある場合はファ・ うにする(<u>0)</u>	イルを聞く、変更する、作
Windows ファイアウォール インターネット オプション	できます)(<u>G</u>)		(Fill)

∕⊘メモ

- [共有を有効にして、ネットワーク アクセスがある場合はファイルを開くことができるようにする] は選択しないでください。こちらを選択すると、本製品からスキャンした文書を共有フォル ダにファイルとして保存することができなくなります。
- ・Windows Vista で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[続行]をクリックして ください。
5. [パスワード保護共有]の横にある下向きの矢印をクリックします。



6. [パスワード保護の共有を無効にする]をクリックし、[適用]をクリックします。

				×
④●● 壁 《 ネットワークと	共有センター	▼ fg 検索		P
タスク コンピュータとデバイスの表 示 ネットワークに接続	(このコンピュー	ネットワーク 2 タ)	フルマッフを表示 	^
接続またはネットワークのセ ットアップ	🚑 ネットワーク 2(プライ	ベート ネットワーク)	カスタマイズ	
ネットワーク接続の管理	アクセス	ローカルとインターネット		
診断と修復	接続	ローカル エリア接続	状態の表示	
	送 共有と探索			
	ネットワーク探索	◎ 有効	\odot	Е
	ファイル共有	◎ 有効	۲	
	パブリック フォルダ共有	◎ 有効(パスワードが必要)	۲	
	プリンタ共有	◎ 無効(プリンタがインストールされてい	ません) 🕑	
	パスワード保護共有	◎ 有効	۲	
网边项目	パスワード保護が有効の 人のみが、共有ファイル にアクセスできます。他 てください。	場合、このコンピュータでユーザー アカウン 、ごのコンピュータに接続しているプリンタ、 の人がアクセスできるようにするには、パスワ	トとパスワードを持つ パブリック フォルダ フード保護を無効にし	
Windows ファイアウォール インターネット オプション	● パスワード保護の共有	- 本無効にする(<u>W</u>)	(Cill).

∕⊘メモ

Windows Vista で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

● ファイルを保存するフォルダを作成する

パブリックフォルダの直下にもファイルを保存できますが、ここではパブリックフォルダ内 に保存用のフォルダを新規に作成しましょう。

1. エクスプローラなどで、[パブリック] フォルダを表示します。

2. [パブリック」フォルダの下に、新規にフォルダを作成します。



🕛 重要

フォルダ名には半角英数字を使用してください。

🗹 チェック

ここで作成したフォルダ名は、宛先を登録する際に必要になります。忘れないように、巻末の チェックシート(→ P.118)にフォルダ名をメモしておきましょう。

以上で、共有フォルダの設定が完了しました。

次に「ファイルサーバ送信機能を設定する」(→ P.57)に進んでください。

アクセス制限をする共有フォルダを設定する

アクセス制限をする共有フォルダには、パソコン(ファイルサーバ)に登録されているユーザを、 共有フォルダにアクセス可能なユーザとして設定します。

∕⊘メモ

Windows XP Professional をお使いの場合で、簡易ファイル共有が有効になっているときは、以下の手順で無効にします。

- [スタート] メニューから [コントロールパネル] [フォルダオプション] の順に選択して、[フォル ダオプション] 画面を表示します。
- ・ [表示] タブを選択して、 [表示] ページを表示します。
- 「詳細設定」の「簡易ファイルの共有を使用する(推奨)」のチェックマークをはずします。
- [OK] ボタンを押し、フォルダオプション] 画面を閉じます。

共有フォルダにアクセスするユーザの作成

共有フォルダにアクセスするユーザは、パソコン(ファイルサーバ)にログオンするときのアカ ウントとして、事前に作成しておく必要があります。ここでは、パソコンに新規アカウントを作 成する手順を説明します。

∕⊘メモ

以下の手順で新規アカウント(ユーザ名とパスワード)を作成しなくても、既に登録されているアカウン トを、共有フォルダにアクセスできるユーザとして追加することもできます。この場合、既に登録されて いるアカウントにパスワードが設定されていなかったときは、パスワードの作成が必要になります。パス ワードを作成すると、パソコンにログオンするときにも、入力を求められるようになります。

● Windows XP Professional の場合

- [スタート] メニューの [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] を表示します。
- **2.** [ユーザーアカウント] をクリックします。



3. [ユーザーアカウント] 画面で、[新しいアカウントを作成する] をクリックします。



4. [新しいアカウントの名前の入力] にユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

ジューザー アカウント ③ 戻る ③ 髪 ホーム		
	新しいアカウントに名前を付けます (私いかカントのを知るスカロ・ Lari (よす。	(JAN) #+705

🕛 重要

ユーザ名は半角英数 20 文字以内で入力します。

🗹 チェック

ここで設定したユーザ名は、共有フォルダの設定と宛先の登録に必要です。忘れないように、 巻末のチェックシート (→ P.118) にユーザ名をメモしておきましょう。 5. [制限]を選択し、[アカウントの作成]をクリックします。



6. 作成したユーザをクリックし、[パスワードを作成する] をクリックします。



7. [新しいパスワードの入力] と [新しいパスワードの確認入力] にパスワードを入力し、[パ スワードの作成] をクリックします。



🕛 重要

パスワードは半角英数 14 文字以内で入力します。

✓ チェック ここで設定したパスワードは、宛先を登録する際に必要になります。忘れないように、巻末の チェックシート(→P.118)にパスワードをメモしておきましょう。

8. [ユーザーアカウント] 画面を閉じます。

以上で、ユーザの作成が完了しました。

次に「共有フォルダとアクセス許可を設定する」(→ P.44)に進んでください。

● Windows Vista の場合

- 1. [スタート] メニューの [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] を表示します。
- 2. [ユーザーアカウントの追加または削除]をクリックします。



∕⊘メモ

Windows Vista で [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてください。

3. [アカウントの管理] 画面で、[新しいアカウントの作成] をクリックします。



4. [新しいアカウントの作成] 画面でユーザ名を入力し、[標準ユーザ] を選択して、[アカウントの作成] をクリックします。



🕛 重要

ユーザ名は半角英数 20 文字以内で入力します。

✓ チェック ここで設定したユーザ名は、共有フォルダの設定と宛先の登録に必要です。忘れないように、 巻末のチェックシート (→ P.118) にユーザ名をメモしておきましょう。

5. [アカウントの変更]画面で作成したユーザをクリックし、[パスワードの作成]をクリックします。



6. [パスワードの作成] 画面で、黒い枠で囲まれている2つの欄にパスワードを入力し、[パ スワードの作成] をクリックします。



🕛 重要

パスワードは半角英数 14 文字以内で入力します。

▼ チェック ここで設定したパスワードは、宛先を登録する際に必要になります。忘れないように、巻末のチェッ クシート (→ P.118) にパスワードをメモしておきましょう。

7. [アカウントの変更] 画面を閉じます。

以上で、ユーザの作成が完了しました。

次に、「共有フォルダとアクセス許可を設定する」(→ P.44)に進んでください。

共有フォルダとアクセス許可を設定する

パソコンにアカウントを作成したら、次は共有フォルダを作成します。共有フォルダには、作成 したアカウントを共有フォルダにアクセスできるユーザとして追加し、加えてそのユーザのアク セス許可も設定します。

Ð

アクセス許可について 「アクセス許可」とは、パソコンに登録されているユーザに対して、フォルダやファイル操作の権限を与 えることを言います。 アクセス許可には以下の2種類があります。

●ネットワークのアクセス許可(→ P.46)
 ネットワーク経由で共有フォルダにアクセスするユーザを制限します。
 ●ローカルのアクセス許可(→ P.50)
 パソコンにログオンしたユーザのフォルダへのアクセスを制限します。
 「ローカルのアクセス許可」は、フォルダのあるドライブが、NTFS でフォーマットされている場合のみ設定できます。

Windows XP Professional の場合

1. 共有フォルダを設定します。

①任意のドライブに、共有するフォルダを新規作成します。

フォルダは、Cドライブの直下など、わかりやすい場所に作成しておくことをおすすめ します。 例: CV/share

例:C:¥share

🕛 重要

フォルダ名には半角英数字を使用してください。

▼ チェック

ここで作成したフォルダ名は、宛先を登録する際に必要になります。忘れないように、巻末の チェックシート (→ P.118) にフォルダ名をメモしておきましょう。

作成したフォルダを右クリックします。

③[共有とセキュリティ]を選択し、[<フォルダ名>のプロパティ]画面を表示します。



④ [このフォルダを共有する] を選択します。

shareのプロパティ ?×
全般 共有 セキュリティ Web 共有 カスタマイズ
このフォルダをネットワーク上のほかのユーザーと共有できます。このフォ ルダを共有するには「このフォルダを共有する」をクリックしてください。
● このつまけ どちせ 有し ナイ (Al) ● このフォルダを共有する(S)
共有名(出): share
<u>ا</u>)، الراجة (ال)، الم
ユーザー数制限: ③ 無制限(M)
○許可するユーザー数(₩):
ネットワークを経由してこのフォルダにアクセスするユー アクセス許可(P) サーのためにアクセス許可を設定するには、「アクセス 許可」をひっかしてださい。
オフライン アクセスの設定を構成するには、「キャッシュ」 キャッシュ(3) をクリックしてください。
このフォルダを、ネットワーク上の他のコンピュータと共有できるよう、Windows ファイアウォールは構成されています。 Windows ファイアウォールの設定を表示します。
OK キャンセル 適用(A)

2. ネットワークのアクセス許可を設定します。

ネットワークのアクセス許可とは

ネットワーク経由で共有フォルダにアクセスするユーザを制限します。 ネットワーク経由で共有フォルダにアクセスしてきたユーザのアカウントがパソコンに登録されて いない場合、そのユーザはフォルダへのアクセスを拒否されます。また登録されていても、アクセ ス許可を与えられていない場合は、アクセスを拒否されます。

[共有] ページで [アクセス許可] ボタンをクリックし、[<フォルダ名>のアクセス許可] 画面を表示します。

shareのプロパティ
全般 共有 セキュリティ Web 共有 カスタマイズ
このフォルダをネットワーク上のほかのユーザーと共有できます。このフォ ルダを共有するには [このフォルダを共有する] をクリックしてください。
○このフォルダを共有しない(<u>N</u>)
●このフォルダを共有する(S)
共有名(H): share
<u>المجامعة</u>
ユーザー数制限: ③ 無制限(M)
○許可するユーザー数()):
ネットワークを経由してこのフォルダにアクセスするユー サーのためにアクセス時可を設定するには、「アクセス 許可」をソックしてたさい。
オフライン アクセスの設定を構成するには、「キャッシュ」 をクリックしてください。
このフォルダを、ネットワーク上の他のコンピュータと共有できるよう、Windows ファイアウォールは構成されています。 Windows ファイアウォールの設定を表示します。

②[追加]ボタンをクリックし、[ユーザーまたはグループの選択]画面を表示します。

。 share のアクセス許可		?×`
共有アクセス許可		
グループ名またはユーザー名(G):		
Everyone		
		削除(<u>R</u>)
Everyone のアクセス許可(P)	許可	拒否
フルコントロール		
変更 読み取り		
87607-04.5		
ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)

③ [選択するオブジェクト名を入力してください] に、以下の内容を入力します。 [コンピュータ名] \ [ユーザ名]

ユーザー または グループ の選択	?×
オブジェクトの種類を選択してください(S): ユーザー、 グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(Q)
場所を指定してください(<u>F</u>): SWAN	場所(1)
設またオス→イベニーカト名を入力してください(例)(E). SWANuser1	名前の確認(2)
詳細設定(<u>A</u>)	ОК <i>++у</i> /±л

∕⊘メモ

- ・ "\" はキーボードの [¥] で入力します。
- コンピュータ名とユーザ名は、巻末のチェックシート (→ P.118) にメモした内容を入力してください。
- ④[名前の確認]をクリックし、オブジェクト名が正しく入力されていることを確認します。

∕⊘メモ

間違ったオブジェクト名が入力されていると、[名前が見つかりません]画面が表示されます。[キャンセル]をクリックし、コンピュータ名とユーザ名が間違っていないか確認してください。

⑤ [OK] ボタンをクリックし、[ユーザーまたはグループの選択] 画面を閉じます。

 ⑥[<フォルダ名>のアクセス許可]画面で、[グループ名またはユーザー名]からアクセス を許可するユーザを選択し、[許可]の[フルコントロール]にチェックマークを付けま す。

share のアクセス許可	?×
共有アクセス許可	
グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):	
Everyone	
🔮 user1 (SWAN¥user1)	
	追加(D) 削除(B)
user1 のアクセス許可(P)	許可拒否
א-םאעב ארק 🔰	
发史 詰み取り	
67607MX7	
OK	キャンセル 適用(<u>A</u>)

🕛 重要

本製品でスキャンしたデータをパソコン(ファイルサーバ)に保存できるようにするため、ここで は[フルコントロール] にチェックマークを付けてください。

⑦ [OK] ボタンをクリックし、[<フォルダ名>のアクセス許可] 画面を閉じます。

⑧[<フォルダ名>のプロパティ]画面で、[セキュリティ]タブが表示されている場合は、
 P.50の手順3に進んでローカルのアクセス許可を設定してください。[セキュリティ]タブが表示されていない場合は、P.52の手順4に進んでください。

shareのプロパティ ?×
全般 共有 セキュリティ Web 共有 カスタマイズ
このフォルダをネットワーク上のほかのユーザーと共有できます。このフォ ルダを共有するには「このフォルダを共有する」をクリックしてください。
○ このフォルダを共有しない(<u>N</u>)
③このフォルダを共有する(S) ④
共有名(出): share
الالالة (@\Jyke):
ユーザー数制限: ③ 無制限(<u>M</u>)
○許可するユーザー数(<u>W</u>):
ネットワークを経由してこのフォルダにアクセスするユー アクセス許可(P) ザーのためにアクセス許可を設定するには、1アクセス 許可)をリッシリンでとない。
オフライン アクセスの設定を構成するには、「キャッシュ] キャッシュ(G) をクリックして(ださい。
このフォルダを、ネットワーク上の他のコンピュータと共有できるよう、Windows ファイアウォールは構成されています。 Windows ファイアウォールの設定を表示します。
OK キャンセル 適用(A)

∕⊘メモ

次の場合は、[セキュリティ] タブが表示されません。

- ・ 共有フォルダを設定したドライブが FAT16 または FAT32 でフォーマットされている場合
- ・ 簡易ファイル共有が有効になっている場合



ファイルシステムについて Windows で主に使用されているファイルシステムには、FAT(FAT16、FAT32)と NTFS がありま す。NTFS は、FAT よりもセキュリティ面などで優れています。

3. ローカルのアクセス許可を設定する

共有フォルダを設定したドライブが NTFS でフォーマットされている場合は、ネットワークのアクセス許可に加えて、ローカルのアクセス許可の設定が必要です。

Ð

ローカルのアクセス許可とは

パソコン上でのフォルダへのアクセスを制限します。 たとえば、複数のユーザが同じパソコンを使用している場合、あるユーザが他のユーザの作成した フォルダにアクセスしようとしても、許可を与えられていなければアクセスを拒否されます。 ローカルのアクセス許可は、共有フォルダのあるドライブが、NTFS でフォーマットされている場合 に設定できます。

- ①[<フォルダ名>のプロパティ]画面で[セキュリティ]タブをクリックし、[セキュリティ]ページを表示します。
- ② [追加] ボタンをクリックし、[ユーザーまたはグループの選択] 画面を表示します。

hareのプロパティ		?	?);
全般 共有 セキュリティ カスタマイズ			
グループ名またはユーザー名(G):			
👧 Administrators (SWAN¥Administr	ators)	1	^
GCREATOR OWNER			
🕵 Everyone		-	
SYSTEM			
<		>	
	追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>)	
Administrators のアクセス許可(P)	許可	拒否	
フル コントロール	44	1	^
変更	\forall^d		
読み取りと実行	44		
フォルダの内容の一覧表示	4		
読み取り	4		-
書き込み	4		~
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示	示する(こ(は、 匠羊	詳細設定♡	
細設定] をクリックしてください。			

③ [選択するオブジェクト名を入力してください] に、以下の内容を入力します。 [コンピュータ名] \ [ユーザ名]

ユーザー または グループ の 選択	?×
オブジェクトの種類を選択してください(S): ユーザー、 グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(@)
場所を指定してください(<u>F</u>): SWAN	場所①
2日ロオスナラジェクト名を入力してください(例)(E):	名前の確認(C)
詳細設定(<u>A</u>)	OK キャンセル

∕⊘メモ

- ・ "\" はキーボードの [¥] で入力します。
- コンピュータ名とユーザ名は、巻末のチェックシート (→ P.118) にメモした内容を入力してください。
- ④[名前の確認]をクリックし、オブジェクト名が正しく入力されていることを確認します。

∕⊘メモ

間違ったオブジェクト名が入力されていると、[名前が見つかりません] 画面が表示されます。[キャンセル] をクリックし、コンピュータ名とユーザ名が間違っていないか確認してください。

⑤ [OK] ボタンをクリックし、[ユーザーまたはグループの選択] 画面を閉じます。

⑥ [セキュリティ] ページで、[グループ名またはユーザー名] からアクセスを許可する ユーザを選択し、[許可] の [フルコントロール] にチェックマークを付けます。



🕛 重要

本製品でスキャンしたデータをパソコン(ファイルサーバ)に保存できるようにするため、ここで は[フルコントロール]にチェックマークを付けてください。

4. [OK] ボタンをクリックし、[<フォルダ名>のプロパティ] 画面を閉じます。

以上で、共有フォルダとアクセス許可の設定が完了しました。

次に「ファイルサーバ送信機能を設定する」(→ P.57)に進んでください。

● Windows Vista の場合

1. 任意のドライブに、共有するフォルダを新規作成します。

フォルダは、Cドライブの直下など、わかりやすい場所に作成しておくことをおすすめします。 例:C:¥share

🕛 重要

フォルダ名には半角英数字を使用してください。

🗹 チェック

ここで作成したフォルダ名は、宛先を登録する際に必要になります。忘れないように、巻末の チェックシート(→P.118)にフォルダ名をメモしておきましょう。

- 2. 作成したフォルダを右クリックします。
- 3. [共有]を選択し、[ファイルの共有] 画面を表示します。



4. [追加]の左側の [▼] をクリックし、P.42 で作成したユーザを選択して、[追加] をクリックします。

20 13 ファイルの共有	×
共有を行う人々を選んでください	
人々が共有したファイルへアクセスするためには、ユーザー アカウントとバスワードが必要です。こ の設定を変更するには <u>ネットワークと共有センター</u> を使用してください。	
■ 「 ・ 「 き加(A)	
usera ylt5-vish5-jp Everyone (この一覧のすべてのユーザー) 新しいユーザーの作成	
Windows での共有の方法について表示します。	
⑦共有(H) キャンセル	

5. 追加したユーザを選択し、[投稿者] または [共同所有者] にチェックマークを付けて、[共 有] をクリックします。

共有を行う人々を進んてくたさい		
人々が共有したファイルヘアクセスするため の設定を変更するには <u>ネットワークと共有</u> た	には、ユーザー アカウントとパス? <u>>ンター</u> を使用してください。	フードが必要です。
	•	追加(<u>A</u>)
名前	アクセス許可	可のレベル
💈 user1	閲覧者 ▼	✓ 閲覧者
🙎 yit5-vishb-jp	所有者 🔹	投稿者
	U	共同所有者
		削除

Ø メモ

- Windows Vista で [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、 [続行] をクリックして ください。
- Windows Vista のアクセス許可について 閲覧者:ファイルの閲覧のみ可能です。 投稿者:ファイルの作成、変更、削除が可能です。ただし、アクセス許可の変更はできません。 共同所有者:ファイルの作成、変更、削除、アクセス許可の変更など、すべてのファイル操作が 可能です。

6. [終了] ボタンをクリックし、[ファイルの共有] 画面を閉じます。

以上で、共有フォルダとアクセス許可の設定が完了しました。

次に「ファイルサーバ送信機能を設定する」(→ P.57)に進んでください。

詳細なアクセス許可について

P.44 から P.54 の手順では、本製品から共有フォルダにデータを送信(書き込み)できるようにするために、共有フォルダの「user1」のアクセス許可を「フルコントロール」に設定しました。 これに対し、ネットワーク上のパソコンとファイルサーバ間のファイル共有の場合には、以下のとおりアクセス許可の設定を使いわけ、ユーザアカウントごとに異なる権限を与えることができます。

∕⊘メモ

ネットワーク経由で共有フォルダにアクセスするには、「ネットワークのアクセス許可」と「ローカルの アクセス許可」のどちらも設定する必要があり、より厳しい方のアクセス許可が適用されます。 ネットワークのアクセス許可を「フルコントロール」に設定し、ローカルのアクセス許可で詳細な設定す ると、アクセス許可の管理が簡単になります。



∕⊘メモ

- Windows XP Professional で P.55 のように設定するには、P.44 から P.52 の手順を参考に、それぞれの ユーザアカウントごとに異なる権限を設定してください。
- Windows Vista で P.55 のように設定するには、P.53 から P.54 の手順を参考に、それぞれのユーザアカ ウントごとに異なる権限を設定してください。
 なお、Windows Vista の場合、ローカルのアクセス許可の設定画面は以下の手順で表示します。
 エクスプローラなどで共有するフォルダを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
 - [共有] ページで [詳細な共有] をクリックします。

ファイルサーバ送信機能を設定する

パソコン側の設定が完了したら、次は本製品側のファイルサーバ送信機能を設定しましょう。

1. リモート UI を起動し、管理者モードでログインします。

∕⊘メモ

リモート UIの起動方法については、「リモート UIの起動方法」(→ P.19)を参照してください。

2. [デバイス] の下の [ネットワーク] をクリックします。 [ネットワーク] が表示されていない場合は、[デバイス] をクリックしてください。

働りモートUE(デバイス):: 192.168.222.58 - Microsoft Internet Explo	97RF	. ØX
ファイル日 編集日 表示公 お気に入り色 ツール田 ヘルプロ		47
ONO. O. N S G DAME STRUCK O D. O M.	- U 10,	10 IT 114
Prince Burney Isc 10022200, owing mini		A PA CON
ク (単) (5400)		0 3
		4
	~*	
管理者モード U スキャリ: 記の反応の可能	े । 'र	
F/12	7.8	
- 状態 給紙情報		(Constraint)
# 協報 手差しトレイ	A4	
# <u>ネットワーク</u>		
217 NC51	➡ 普通紙	
7102		
初期政定/登録		
▶ 管理者へメール		
創 ページが表示されました		

3. [変更] をクリックします。

• 0 · R R	0 PHR 0 18031 0 0- 2 0	- 🗆 🛍		
) @http://19216	822259/ rethtral			× E
5	E ME4880			\$?
5				
	ネットワーク			
NOUR-DA	ネットワークインタフェース	_		
管理者モード	1/271-2.	East Ethernet 10/1	10RoseT	
	Ethernethライバ設定:	自動検出		
デバイス	伝送速度:	100Mbps		
状態	MACTHUR :	00 00 85 8B E5 67		
<u>情報</u>	SNMPを使用:	オン		
ネットワーク	コミュニティ名1:	*******		
りウンタモビ	コミュニティ名2:	未設定		
ジョブ	SNMP書き込み可能1:	オン		
アドレス	SNMP書ぎ込み可能2	オフ		
1期設定/登録	専用ボート設定	オン		
CTERA Sect.				
<u>9.2.9 \/ //</u>				
	V <u>3/2 ICP/IP</u>			
	Le ONE			
	E TOD (ID			
	E TCP/IP			RE.
	国 TGP/IP 起動時間 :		60	R.
	E TCP/IP 起動時間: IPアドレスを自動的に取得		60 する	XE.
	図 TCP/IP 起動時間: IPアドレスを自動的に取得 DHCP:	1	60 する オン	XE
	TGP/IP を動好間: IPアドレスを自動的に取得 DHOP: BOOTP:	1	60 する オン オフ	RE.
	図 TGP/IP を動作間: IP7やしスを自動的に取得 DHOP: BOOTP: RARP:	4	80 する オン オフ オフ	<u>RE</u>
	国 てP/IP 起動時間: IP7やしスを自動的に取得 DHCP: BOOTP: RARP: IP7やしス:	1	60 する オン オフ オフ オフ 12918822258	(RE)
	 TCP/IP 起動所間: IPアトレスを自動的に取得 DHOP: BOOTF: RARP: IPアトレス: サブネットマスク: 	1	80 する オン オフ オフ 19216822258 25325325000	<u>II</u>
	 TCP/IP た影時間: IPアやしスを自動的に取得 DHOP: BOOTP: RAPP IPアやしス: サブネットマスク: ゲーゲシェイアトレス: 	1	60 する オン オフ オフ 19216822259 25355550 1921682221	
	 TO/JP Lを助ける。 IPアルスを自動的に取得 DHCP DOTP: RAAP IPアルス: Pアルス: Pアルス: Pアルス: Pアルス: 	1	60 する オン オフ オフ オフ 192,18822258 205,205200 192,18822210	
	 さかかり と数時間。 ドアドレスを目的のに取得 ドレス・ 日の下・ 日の下・ 日の下・ 日の下・ 日の下・ アナレス・ リアドレス・ リアドレス・ リアドレス・ リッチャマスク・ リッチャマスク・ リッチャマスク・ リッチャマスク・ リッチャマスク・ リッチャット ロッチック・ リッチャット ロッチック・ ロッチャック・ ロッチャット ロッチャック・ ロッチャット ロッチャット<!--</td--><td>4</td><td>00 する オン オフ オフ 20325258 20325250 1021882221 1021882221 102182221</td><td>(III)</td>	4	00 する オン オフ オフ 20325258 20325250 1021882221 1021882221 102182221	(III)

4. スクロールバーを使用して、画面を下にスクロールさせます。

編集10 表示12	1 89%2A010 7-14U A1710			
• © • N 2 0	□ P ## ☆ b\$(CA) @ D · \$ □			
@ http://192168.2	2258/_edit_conethimi			
on	言語 ネットワーク設定			
7	以下のように陸定を変更します。			
~	設定変更は次同主電源ON時より有効となりま	<i>t</i> .		OK キャンセ
ッマペーダへ	J			
理者モード	起動時間の設定			
	起動時間:	50 (0	~300种》	
7/12				
195	терлезбе			
6 mh日~2	□IPアドレスを自動的に取得する	DHCP :	オン・オフ	
ウンタ曜辺		BUUTP :	42-42	
ジョブ		KARP :	_a>_a>	
アドレス	IPアドレス:	192.168.222.58		
目設定/登録	サブネットマスク:	255 255 255 0		
	ゲートウェイアドレス :	192.168.222.1		
理者へメール	DNSプライマリサーバ:	0.0.0.0		
	DNSセカンダリサーバ :	0.0.0.0		
	DNSホスト名:	Canon8BE4C7		
	DNSドメイン名:			
	DNSの動的更新:	○オン ⊙オフ		
	WINS(による名前解決 :	のオンのオフ		
	WINSサーバ設定:	0.0.0.0		
	LPDを使用:	⊙オン ○オフ		
	D	071077		
	双方向を使用・	0オン0オフ		
	HTTPを使用:	⊙オン ○オフ		
	ポート番号設定			

5. ファイルサーバ送信機能を設定します。

08.0.	3 3 4 0 mm (1 mm 3) (3 0 - 5 M - 1	- 49		
281200	A R C Proce Concord of Dr. C	· 84,		
1100 B				
3		許可アドレス5:		
6				
	L SMBサーバ設定			_
102M-5	へ SMBクライアントを使用:	のオンのオフ		
_	サーバ名:			
	ワークグループ名:			
デバイス				
= 状態	LMアナウンスを使用:	0オン 0オフ		
* 5.65				
1 ショトワーク	2 2			
ジョブ	SNMP設定			_
アドレス	SNMPを使用:	⊙オン○オフ		
初期設定/愛	コミュニティ名1:	public		
	コミュニティ名2			
▶ 使理想へぶ	SNMP書ざ込み可能1:	○オン ○オフ		
	- SNMP書ざ込み可能2:	○オン⊙オフ		
	3			
	専用ボート設定			
	専用ポートを使用:	⊙オン⊝オフ		
	2			
	Ethernetドライハ設定			_
	Ethernetドライバ	○ 自動検出 ○ 手動	検出	
		通信方式: 半二	1 ×	
		Enternetの種類:10B		
	2			
	電子メール/1 ファクス設定			
	SMTP受信:	オンのオフ		
	POP :	のオンのオフ		

②サーバ名(任意):

① SMB クライアントを使用(必須): [オン]を選択します。本製品のファイルサーバ送 信機能が使用できるようになります。

> エクスプローラなどで開いたときに表示される ネットワーク上の本製品の名前を入力します(半 角カタカナ、英数字で最大15文字。スペースの入 力は不可)。

例:My_printer

たとえば Windows XP では、エクスプローラ上で 以下のように表示されます。



③ワークグループ名(任意):

送信先のパソコン(スキャンした文書をファイル として保存するための共有フォルダがあるパソコ ン)と同じワークグループ名を入力します(半角 カタカナ、英数字で最大15文字。スペースの入力 は不可)。設定したワークグループの中の機器とし て、ネットワーク上に本製品が表示されます。送 信先のパソコンにワークグループが設定されてい ない場合は、空欄のままにします。

Windows XP では、[システムのプロパティ]画面 から、ワークグループ名が確認できます。

システムのプロパティ	?×
全般コンピュータ名	ハードウェア「詳細設定」システムの復元「自動更新」リモート
次の情報を	:使ってネットワーク上でこのコンピュータを識別します。
コンピュータの説明(<u>D</u>):	
	例: "キッチンのコンピュータ"、"仕事用コンピュータ"
フル コンピュータ名:	SWAN.
ワークグループ:	CANON
ネットワーク ID ウィザー ユーザー アカウントの作 てください。	を使ってドメインへの参加わよびローカル 成を行うには、「ネットワーク ID」をクリックし
コンピュータ名を変更した リックしてください。	とりドメインに参加したりするには [変更] をク (変更(<u>©</u>)
	OK キャンセル 適用(A)

Windows Vista では、[システム]画面から、ワー クグループ名が確認できます。

000 · 🛤 • =>>+=-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ネル 🕨 システムとメンテナン	ス ▶ システム
タスク ② デバイス マネージで(<u>M</u>) ③ リモートの設定(<u>B</u>) ③ システムの準確決(<u>M</u>) ③ システムの準確決定(<u>A</u>)	コンピュータの基本的な情 Windows Edition Windows Vista [™] Hom Copyright © 2006 Mic Windows Vista をアッ?	80表示 e Premium osoft Corporation. All rights reserved. グクレードする(G)
	システム 評価: プロセッサ: メモリ (RAM): システムの種類:	Windows エクスペリエンス インデックス AND Athlon(tm) 64 X2 Dual Care Processor 3800+ 1022 MB 32 ビット オペレーティング システム
関連項目 Windows Update(U) セキュリティ センター(S)	コンピュータ名、ドメイン コンピュータ名: フル コンピュータ名: フークグループ: Windows ライセンス変近	S&Gワークガループの液定 SWAN SWAN CANON

Scan to ファイルサーバ機能を使ってみよう

- ④コメント(任意): コメントを入力します(半角カタカナ、英数字で 最大 48 文字)。ここで入力したコメントは、ネットワーク上に表示されます。
 ⑤LMアナウンスを使用(任意): 本製品の存在をLAN Manager に通知するかどうか を設定します。ネットワーク上の混雑を避けたい 場合は、[オフ]のままにします。
- 6. 設定内容を確認したら、スクロールバーを使用して、画面を上にスクロールさせます。

0 0 0 0	(a brack traverse to brief on				
D 📓 http://192168.2	2258/,edit,conethini			2 副 移動	リンク
40	SNMP :	161			
2)	□IPアドレス範囲設定を有効にする	許可			
5		拒否			
NURR-BA		アドレス範囲1:	2003 - 0300		
		アドレス範囲2:			
管理者モード		アドレス範囲3:			
デバイス		アドレス範囲4:	- 0000		
状態		*単一アドレスを指定する場合に	1、終了アドレスと開始アドレスに同じ値を入力してください。		1
情報	□祭信地司1467日、7時定を有効にする				Ľ
ネットワーク	Coxidat Sideo / Coxido de Haviero d	許可アドレス1・			
カウンタ暗辺		許可アドレス2・			
7817		許可アドレス3・			1
7		許可アドレス4			1
O AN EXCAL / SEC OF		許可アドレス5			11
		ar 177 b 700 .			411
管理者へメール	2				11
	SMBサーバ設定				4
	SMBクライアントを使用	⊙オン ○オフ			11
	サーバ名:				11
	ワークグループ名:				11
	コメント:				U.
	LMアナウンスを使用:	○オン⊙オフ			2
	8				
	SNMP設定				
	SNMPを使用:	⊙オン ○オフ			
	コミュニティ名1:	public			
	コミュニティ名2 :				
	SNMP書き込み可能1:	⊙オン○オフ			
	SNUP書き込み可能2	Oオ`/ Oオフ			

7. [OK] をクリックします。

・・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・ ・・・・・ ・・・・・・	· & G			
Ehtp://19218822259/_edt_conethini ア 単型ネットワーク設定 トワーク設定				
2 ドローク設定				⊻ ∋
NTO FOLLOW				
V NOR NEW CONTRACTOR	at the latential second second	+		
25日30年(37人回主権(80)	#Fより有XXCはりま	9.		
■ 老勤時間の設定				
起動時間:		50	0~300种)	
FKTZ				
TCP/IP35E				
□ IPアドレスを自動的に	取得する	DHCP :	オン オフ	
<u>トワーク</u> ド/々藤四		BOOTP :	オン・オフ	
7EV		RARP :	オン・オフ	
IP7HUA:		192.168.222.58		
設定/登録 サブネットマスク:		255 255 255.0		
ゲートウェイアドレス:		192.168.222.1		
DNSプライマリサーバ:		0.0.0.0		
DNSセカンダリサーバ:		0.0.0.0		
DNSホスト名:		Canon8BE407		
DNSドメイン名:				
DNSの動的更新:		○オン ⊙オフ		
WINSによる名前解決:		⊙オン ○オフ		
WINSサーバ設定:		0.0.0.0		
LPDを使用:		⊙オン ○オフ		
Raul0定。		071077		
双方向を使用		○オン ○オフ		
HTTPを使用:		⊙オン⊙オフ		

8. いったん本製品の主電源スイッチを切り、10秒待ってから再び主電源スイッチを入れてください。

🕛 重要

設定を有効にするには、本製品の再起動が必要です。

以上で、ファイルサーバ送信機能の設定が完了しました。

次に「宛先を登録する(ファイルサーバ)」(→ P.63)に進んでください。

宛先を登録する(ファイルサーバ)

本製品でスキャンした文書をファイルとしてパソコン(ファイルサーバ)へ送信するには、送信 先のコンピュータ名や共有フォルダの情報などを、本製品に宛先として登録する必要がありま す。

1. リモート UI を起動し、管理者モードでログインします。

∕⊘メモ

リモート UI の起動方法については、「リモート UI の起動方法」(→ P.19)を参照してください。

2. [アドレス] をクリックし、メニューから [ワンタッチダイヤル] または [短縮ダイヤル] を選択します。

勤リモートロ(アドレス): 19	2.168.222.58	t – Microsoft Intern	et Explorer			- ax
771/0 WE 870	590CA0(4)	9-50 A17B				AU.
7FLAD A http://192168.222	587 adrahtmi?dn	1	op oo Ly ma			~ E3 646
						The second se
60	📲 мF4	4680				\$ 3
7	17.140	*王贲又称11				
F426-96	×	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
管理者モード	80 MR 51	et in the second se		通信の種類	機構地	
デバイス	01 🗉	未登録				
	<u>02</u>	<u>未登録</u>				
	<u>03</u> 🖬	未登録				
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>04</u> 🗎	未登録				
	<u>05</u> 🖬	<u>未登録</u>				
h matter a start	<u>06</u> 🖬	未登録				
* <u>3.4.4</u>	<u>07</u>	<u>未登録</u>				
	<u>06</u> 🖬	<u>未登録</u>				
	8					
創 ページが表示されました						1/20-201

∕⊘メモ

[ワンタッチダイヤル] または [短縮ダイヤル] に宛先を登録しておくと、本製品の操作パネルのワンタッチダイヤルキーまたは [短縮] キーを使用して、ファイルサーバにファイルを送信することができます。

3. [未登録] をクリックします。

ヨリモートUE <アドレス>::192.10 ファイル(E) 編集(E) 表示(A) おき	i8.222.58 - Microsoft Internet Explo 収入り④ ツール① ヘルブ田	er.		- •
OR. O. BRG P	秋田 ☆ お気に入り ④ 〇・島 田 日	81.		
PFURD Http://192.168.222.58/,	sdra.html?dnv1			- 28
	2			
60	MF4680			4 ?
	口:10=			
F//20-90	X			
管理者モード	0 304 iza	通信 0種類	接线先	
5112	1 回 未登録			
v∃7 0	2 回 未登録			
<u> </u>	3 🖬 未登録			
1000001011 Q	4 回 未登録			
利期設定/登録 □	5 回 未登録			
	6 回 <u>未登録</u>			
 ・ ・ 登壇者へメール	7 回 未登録			
9	◎ ■ <u>未登録</u>			
3	1			

4. [通信の種類] から [ファイル] を選択します。

通りモートロ <アドレス> : :	192.168.222.58 - Microsoft Internet Explorer		
ファイル(E) 編集(E) 表示の	0 BMC200 9-10 1170		R
0 R2 . O . N S	◎ 戶根案 ☆お\$\$\$2,50 ④ ◎• 臺 圖		
アドレス(D) 🗃 http://1921683	22258/,edit,edits.html?dn=1	×	5 移動 リンク
POZAHDA POZAHDA			
創 ページが表示されました		● 128	2-201

5. 以下を入力します。



①名前(任意):	送信先の名前を入力します(半角カタカナ、英数字で最大 16 文字)。入力した名前が宛先表に表示されます。
②プロトコル:	[SMB] 固定です。
③ホスト名(必須):	巻末のチェックシート(→ P.118)にメモした[コンピュータ 名]を入力します。
④フォルダへのパス (必須):	巻末のチェックシート (→ P.118) にメモした [フォルダ名]を 入力します。フォルダ名の前には "¥" を付けます。 例:¥share
	共有フォルダの下にさらにフォルダを作成した場合は、その フォルダ名も入力します。フォルダ名は"¥"で区切ります。 例:¥share¥images
	Windows Vista でパブリックフォルダ共有 (→ P.33) を設定し た場合は、パブリックフォルダとその下のフォルダを "¥" で区 切り、以下のように入力します。 例:¥Public¥share
⑤ユーザ名(任意):	アクセス制限をする共有フォルダにファイルを送信する場合 は、巻末のチェックシート(→ P.118)にメモした[ユーザ名] を入力します。アクセス制限をしない共有フォルダにファイル を送信する場合は、空欄のままにします。
⑥パスワード(任意):	アクセス制限をする共有フォルダにファイルを送信する場合 は、巻末のチェックシート(→P.118)にメモした[パスワー ド]を入力します。アクセス制限をしない共有フォルダファイ ルを送信する場合は、空欄のままにします。

6. 設定内容を確認したら、[OK] をクリックします。



以上で、宛先の設定が完了しました。

次に「ファイルサーバへ送信する」(→ P.70)に進んでください。

宛先の登録内容を表示/修正するには

登録した内容に間違いがあった場合は以下の手順で修正します。

1. 宛先の登録内容を表示するには、宛先の名前をクリックします。

勤 リモートUI <アドレス> :: 11	2.168.222	58 - Microxoft Internet E	xplorer				- BX
ファイル(E) 編集(E) 表示(A)	お気に入り込) 7-110 A17(B)					Ry
G #6 • 0 • 8 2 (2	戸枝常・	会お死に入り ④ ◎・ ◎	III - □ £1,				
アドレス(D) 🗃 http://192.168.222	58/_adrs.html	?dn=1					
2	「 ワン: メ	F4880 タッチダイヤル	_	_	_	_	\$?
管理者モード	88 31	7		18/2 01923		10114	
	01 11	file server		SMB		SWAN	
7/11X							
アドレス		10400 4000					
- <u>77897847</u>	04 8	+89					
= 短縮ダイヤル	<u>~</u>	<u>+ 1000</u>					
初期設定/豐輝		1.013					
▶ <u>留理者へメール</u>	<u></u>	+ 10 CT					
	07 0	<u>木豆球</u>					
	08 0	木豆琢					
Ch. a. and the state of the							

宛先の登録内容が表示されます。

2. 登録内容を修正したい場合は、[編集]をクリックします。



3. [宛先の編集] 画面で修正したい項目を設定します。



4. 内容を確認したら、[OK] をクリックします。

通りモートUI <アドレス> ::1	192.168.222.58 - Microxoft Internet Explorer		_ @ ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(2)) 8%(C)(%) 9-1/0 \1/1/8		Ry .
251200 Blue (102182)			- FT 626
\$	(1) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3		
HURM-SA.	通信の種類: ファイル		OK 445-634
管理者モード	01 7 7 474		
FK47	名前:	file_server	
ジョフ アドレス ■ ワンタッチダイヤ ル ■ 近磁ダイヤル	プロトコル: ホスト名: フォルダへのバス: ユーザ名: ロバスワードを変更する	SMB W SWAN Vefwere user1	
► Editoria	8		
副水一沙探索示和波以北			@ 120-29h

登録した宛先を削除するには

1. 削除したい名前の左にあるチェックボックスを選択し、[※] をクリックします。 宛先が削除されます。

③リモートUI <アドレス>::193	2.168.222.	58 - Microxoft Internet Explorer			_ 0 ×
ファイルビ 編集化 表示公	お気に入り値) 7-110 A1718			R!
0 R5 · O · N 2 G	户根带:	anter 🖉 🖉 🖓 📓 - 🗆 🛍			
7FU2(D) @http://1921682225	987_adrs.html	?dn=1			✓ 副 4985
P2 HOZM-BA		F4880 ダッチダイヤル			\$?
管理者モード			1812 C1844	機能完	
デバイス	. HE	file_server	SMB	SWAN	
ジョブ	02 11	<u>未登録</u>			
アドレス	<u>ca</u> 🔳	<u>未登録</u>			
■ ワンタッチダイヤ ル	<u>04</u> 🖿	未登録			
= 短縮ダイヤル 初期設定/登録	<u>06</u> 🔳	<u>未登録</u>			
	<u>06</u>	<u>未登録</u>			
▶ 管理者へメール	<u>07</u> 🔳	未登録			
	<u>08</u> 🖬	<u>未登録</u>			
	8				
④ ページが表示されました				9	インターネット

∕⊘メモ

いったん削除した宛先は元に戻せません。

ファイルサーバへ送信する

登録した宛先(ファイルサーバ)に文書を送信してみましょう。 正しく設定できていれば、スキャンした文書がファイルとしてファイルサーバの共有フォルダに 保存されます。

∕∕∕∀

送信されるファイル形式の初期値は、PDF ファイルに設定されています。

原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。
 複数原稿をスキャンする場合は、ADF を使ってスキャンしてください。


2. [送信/ファクス] を繰り返し押して、<デンシメール:カラー>または<デンシメール: シロクロ>を選択し、[OK] を押します。

∕∕∕メモ

本製品がスリープモードの状態になっている場合、LCD ディスプレイには何も表示されず、[節電] キーがグリーンに点灯しています。その場合、[節電]キーを押し、スリープモードから復帰させて ください。



<デンシメール:カラー>:カラー画像のファイルを共有フォルダに送信します。 <デンシメール:シロクロ>:白黒画像のファイルを共有フォルダに送信します。

3. 宛先を登録したワンタッチダイヤル (01 ~ 08)、または短縮ダイヤル (000 ~ 191) を選択します。

「宛先を登録する(ファイルサーバ)」(→ P.63)で登録したワンタッチダイヤル、または短 縮ダイヤルの番号を選択してください。

● ワンタッチダイヤルに登録した場合

ワンタッチダイヤルキー(01~08)を押します。



● 短縮ダイヤルに登録した場合
 [短縮]を押し、テンキーを使って3桁の番号(000~191)を入力します。



4. [スタート]を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、[◄-] または [+ト] を押して原稿サイズを選択し、[OK] を押します。



⊘ メモ

ファイル形式や解像度などを詳細に設定したい場合は、[スタート]の前に[OK]を押します。 文書の読み込み設定の詳細については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合 編)「第4章送信と受信『読み込み設定』『画像/原稿の設定を調節する(電子メール/ファイルサー バ送信』」を参照してください。

5. 原稿が読み込まれ、ファイルサーバに送信されます。

6. ファイルサーバに送信されたファイルが保存されているか、確認します。

エクスプローラなどで送信先の共有フォルダを開きます。読み込まれた原稿が正しく送信さ れていれば、共有フォルダ内にファイルが保存されています。



∕⊘メモ

ファイルは、0001_0001から連続した番号のファイル名で保存されます。

● ファイルが保存されていない場合

- 今まで行ってきた設定が正しいかどうか、再度確認してください。
- エラー送信レポートがプリントされた場合は、エラーコードから原因を調べることができます。
 詳しくは「困ったときには」の「エラー送信レポートがプリントされた」(→ P.108)を参照してください。

受信したファクスを取引先別にファイルサーバに保存する

複数の取引先から、毎日たくさんのファクスが送られてきます。ファクスを仕分けているとき に、こんなことを思ったことはありませんか?

- ファクスの紙代がかさむ
- 取引先からのファクスの仕分が面倒
- 電子化して保存したい

本製品の転送機能とScantoファイルサーバ機能を組み合わせて使用すると、受信したファクス をファイルに変換し、直接ファイルサーバの共有フォルダに転送することができます。複数ある 取引先の転送条件をそれぞれ設定しておけば、設定した取引先からファクスを受信するたびに 指定のフォルダにファイルが保存され、紙代の節約、仕分けにかかる時間の短縮、ファクスの電 子化がすべて同時に可能となります。



転送条件の設定手順

受信したファクスを指定のフォルダに転送するには、リモート UI から、以下の手順で転送条件 を設定します。条件ありの転送条件は 10 件まで登録できます。また、条件なしの転送条件は ファクスの種類ごとに 1 件ずつ登録できます。

∕⊘メモ

リモート UI の起動方法については「リモート UI の起動方法」(→ P.19)を、転送設定の詳細については 製品付属の CD-ROM に収録されている*操作ガイド(総合編)「第 7 章リモート UI『転送の設定をする』」* を参照してください。

- **1.** リモート UI を起動します。
- 2. [初期設定/登録]をクリックし、メニューから [転送設定]を選択します。

- 3. [] (転送設定の追加)をクリックします。
- 4. 以下のように設定します。



項目	設定値
①受信手段(必須)	[ファクス]
②転送条件名(任意)	company_A
③転送条件(必須)	[と等しい] O3xxxxxxx
④転送先(必須)*	「転送先」の欄には、宛先表に登録されている 名前が表示されます。 宛先表の[フォルダへのパス]に、以下のよ うに入力しておきます。 例:¥fax¥copmany_A
⑤ファイル形式 (必須)	[TIFF] または [PDF]

- * 転送先のフォルダのパスは、あらかじめ宛先表に登録しておく必要があります。 宛先の登録方法については、「宛先を登録する(ファイルサーバ)」(→P.63)を参照して ください。
- 5. [この転送条件を有効にする] にチェックマークを付け、転送条件を有効にします。
- **6.** 設定内容を確認したら、[OK] をクリックします。

Scan to ファイルサーバ機能を使ってみよう

Scan to E-Mail 機能を 使ってみよう

ここでは、Scan to E-Mail 機能を使い、本製品でスキャンした原稿を E-Mail に添付して送付する 手順について説明します。

Scan to E-Mail 機能を使うには、以下の設定が必要です。



電子メールの送信機能を設定する

ここでは、電子メールの送信に必要なメールサーバやユーザ名、パスワード等の情報を本製品に 設定します。

∕⊘メモ

設定に必要な項目は、認証方式によって異なります。

1. リモート UI を起動し、管理者モードでログインします。

Ø メモ

リモート UI の起動方法については、「リモート UI の起動方法」(→ P.19)を参照してください。

2. [デバイス] の下の [ネットワーク] をクリックします。 [ネットワーク] が表示されていない場合は、[デバイス] をクリックしてください。

▲リモートUE <デパイス> :: 192.168.222.58 - Microsoft Internet Explorer	- PX
ファイルビ 編集包 表示公 お気に入り値 ツールロ ヘルプロ	At .
◎ #8 · ◎ · 回 回 ◎ ₽ ## ☆#\$\$\$2.20 @ @ · ◎ 圖 · □ ◎.	
7FUX@ ahttp://19216822258/.devmer.html	V 🖸 1545
MF4880	@ ?
トゥスパークハ 0 ブリンタ: 印刷可能です。	
管理者モード ◎ スキャナ: 読み込み可能です。	
◎ ファクス: ファクス可能です。	
デバイス	
- <u>抗胆</u> 能活動幅 # 情報	
● 普通紙	
カセット ② # 画紙	
<u><u><u></u></u></u>	
初期設定/登録	
▶ <u>飯退並△∠−ル</u>	
創ページが表示されました	129-201

3. [変更] をクリックします。

• O • B 2	6 PAR 2 55500 0 0- & M	- D 🛍		
D @ http://192166	322258/,rethtml			× 🗈 🕯
4-	A			
9	MF4680			\$ 3
5	ネットローク			
1024-0A				
	ネットワークインタフェース			
管理者モード	インタフェース:	Fast Ethernet 10/1	00BaseT	
and the second	Ethernetドライバ設定:	自動検出		
7/12	伝送速度:	100Mbps		
<u>状態</u>	MAC7FLス:	00 00 85 8B E5 67		
基礎	SNMPを使用:	オン		
ネットワーク	コミュニティ名1	*******		
カウンター回	コミュニティ名2	未設定		
212	SNMP書ざ込み可能1:	オン		
PFUX	SNMP書さ込み可能2:	オフ		
司期設定/登録	WHIN TO BUE :	42		
管理者へメール	プロトコル			
	- OTCR/IR			
	SMD			
	2 OWE			
	TCP/IP			
	42 前位表問 。		80	
	253/0718j :		60	
	IPアドレスを目動的に取得		76	
	DHCP :		オン	
	BOOTP :		77 	
	RARP :		47	
	IP7FUZ:		192.168.222.58	
	サブネットマスク		255.255.255.0	
	ゲートウェイアドレス		192.168.222.1	
	DNSプライマリサーバ		192.168.222.10	
	DNSセカンダリサーバ		0.0.0	
	DNSホスト名:		Canon8BE567	

4. スクロールバーを使用して、画面を下にスクロールさせます。

D @ http://192.168.22	a protein proverso tel programa 260/edit.comethini			V E3 840
9	199 ネットワーク設定			
5	以下のように設定を変更します。			
1084-9A	設定変更は次回主電源ON時より有効となりま	<i>t</i> .		OK キャンセル
管理者于一下	起動時間の設定	_		_
	起動時間:	50 (0	~300秒)	
デバイス				
<u>状態</u>	TCP/IP設定			
10.50 24.66	□IPアドレスを自動的に取得する	DHCP :	オン オフ	
キットワーク		BOOTP :	オン・オフ	
ジョブ		RARP :	(オン)オフ	
アドレス	1P7FL Z ·	192,168,222,58		
5期設定/登録	サブネットマスク	255 255 255 0		
	ゲートウェイアドレス	192.168.222.1		
管理者へメール	DNSプライマリサーバ:	0.0.0.0		
	DNSセカンダリサーバ:	0.0.0.0		
	DNSホスト名:	Canon8BE4C7		
	DNSドメイン名:			
	DNSの動的更新:	○オン ⊙オフ		
	WINS(による名前解決 :	○オン ○オフ		
	WINSサーバ設定:	0.0.0.0		
	LPDを使用:	⊙オン ○オフ		
	Raw設定:	のオンのオフ		
	双方向を使用	⊙オン ○オフ		
	HTTPを使用:	⊙オン⊙オフ		
	ポート番号設定			

5. 電子メールの送信機能を設定します。

ファイル(E) 編集(E)	表示型 お気に入り(色) ツール(1) ヘルブビジ		
G #5 • O • E			
7F62(1) 🗃 http://	192.168.222.58/_edit_conet.html		×
	コミュニティ名1:	public	
প	コミュニティ名2 :		
5	SNIVP書き込み可能1:	⊙オン○オフ	
h. 11770-01	SNMP書き込み可能2:	○オン⊙オフ	
1.0201-00			
管理者モー	東田ポート物定		
		07:077	
	49/11/1 C 00/11 .	082082	
= <u>状態</u> = 情報	I		
= 装编	Ethernetドライバ設定		
= カウンタ確認	Ethernetドライバ	 ○ 自動検出 ○ 手動検出 	
ジョブ		通信方式: 平二至 V	
アドレス		Ehternatの種類: 108cc-T V	
初期設定/登			
b mart man and	電子メールパファクス設定		
	SMTP受信:	○オン ⊙オフ	
	POP :	○オン⊙オフ	
	送信前のPOP調証:	○オン⊙オフ	
	SMTP認証(SMTP AUTH)する	○オン⊙オフ	
	ユーザ名:		
	パスワード:		
	samott-15.		
	THE	and company com	
	POPTH-US		
	POPTKI		
	D00/(70-6)		
	POPYX 2 PP :		
	HOP961718月幕:	0 分	

① SMTP サーバ(必須): 巻末のチェックシート(→P.118) にメモした [SMTP サーバアドレス] を入力します。

②電子メールアドレス(任意): 本製品用の電子メールアドレスが設定されている場合 は、そのアドレスを入力します。未入力でもかまいま せん。

∕⊘メモ

メールを送信する際に認証が必要ない場合は、手順7に進んでください。

6. 認証方法を設定します。

● SMTP 認証を使用する場合

3月5・0・回回公 戸林田 会が知らる の 日・3日日!	83,	
7FUR http://192168.22258/.edit.conet.html		
コミュニティ名1 :	public	
コミュニティ名2:		
SNMP書き込み可能1:	○オン ○オフ	
SNMP書き込み可能2:	○オン ○オフ	
管理者モード専用ポート設定		
デバイス 専用ボートを使用:	⊙オン ○オフ	
- 抗臣 [7]		
当該機 Ethernetドライバ設定		
ドネットワーク 単カウンタ電源 Ethernetドライバ	○ 自動検出 ○ 手動検出	
ジョス	通信方式: #二重 >	
7FV2	Enternatの種類: 10Bose-T v	
初期政定/登録		
2		
■ 管理者へメール		
SMTP受信:	○オン⊙オフ	
POP :	0オン 0オフ	
送信則のPOP翻註:	0オン0オフ	
SMIPB88ESMIP AUTROP &	047047	
2-7名:	account1	
C/129-F:		
SMTPサーバ:	antp.company.com	
電子メールアトレス:		
POP#-/5:		
POP7FLA:		
POP/12.7-F		
POP執行間隔	0 分	
. or service a		

SMTP 認証(SMTP AUTH)する(必須): [オン]を選択します。
 ②ユーザ名(必須): 巻末のチェックシート

巻末のチェックシート(→ P.118)にメモし た[認証方式]の[SMTP ユーザ名]を入力 します。

巻末のチェックシート (→ P.118) にメモし た [認証方式] の [SMTP パスワード] を入 力します。

D

SMTP 認証とは

③パスワード(必須):

SMTP サーバでユーザ名とパスワードを確認したあと、電子メールを送信する認証方式です。

● POP before SMTP 認証を使用する場合

プロバイダが認証方式に POP before SMTP 認証を採用している場合は、まず「電子メールを受信するには」(→ P.95)を参照して電子メール受信機能の設定をし、そのあと以下の設定を行ってください。

	TRACTOR CO. Dr. OF CO.		
PFURD Http://192.168.222.58/_edit_conet.	htnl		× 6
	=7461:	public	
V) 184	-7462:		
	*香ご込み可能1: 2事業込み可能2.	01/01/	
hogo-ga	- BC 2207 - 7862	042042	
2			
w理想セード 専用ボー	一ト設定		
テバイス専用ポ	ポートを使用:	⊙オン ○オフ	
# 抚服			
■ 加加 ■ 法值 Etherne	etドライバ設定		
 ・ ・ ・	metドライバ	 ○ 自動検出 ○ 手動検出 	
ジョブ		通信方式	
アドレス		Ehternetの種類: 10Base-T >	
初期設定/登録			
2			
▶ 管理者へメール	ールパファクス設定		
SMT	FP安信:		
C240	節のpopl制度.	047047	
2010	DRIVER SMILL ALLER A	04/04/	
	tf2		
SMT	ΠΡサ−/≦:	a mtp.company.com	
電子	-メールアドレス :		
POP	>サーバ:		
POP	97ドレス:		
POP	ッパスワード:		
POP	>発行問隔:	0 分	

①送信前の POP 認証:

[オン] を選択します。



POP before SMTP とは

ー度 POP サーバにアクセスし、POP アドレスと POP パスワードを確認してから電子メールを送信 する認証方式です。 7. 設定内容を確認したら、スクロールバーを使用して、画面を上にスクロールさせます。



8. [OK] をクリックします。

				100 000
@ http://192168.22	2.58/_edit_conet.html			× 2
on	書 ネットワーク設定			
	以下のように設定を変更します。			
-0	設定変更は次回主電源ON時より有効となりま	<i>t</i> .		OK P4
924-94				U
理者モード	起動時間の設定			
= 11 / 2	起動時間:	50 0)~300秒)	
	TCD/ID等结			
6	「「「大字白針的」「加湯する	DHOD -		
島 小ワーク		BOOTP :	オン・オフ	
109曜辺		RARP :	オン・オフ	
2847				
19:12/0149	IP7FUA:	192.168.222.58		
	サブネットマスク	265 255 255 0		
	ケードフェイアトレス:	192.168.222.1		
<u>11-2=b</u>	DNS 7 74 200 = 11	0.00.0		
	DNSC/000000000000000000000000000000000000	0.00.0		
	DNSF347-42	00000000		
	DNSの動的更新:	○オン⊙オフ		
	WINSによる名別解決:	⊙オノ○オフ		
	MINS / -/ VERSE :	0.00.0		
	LPDを使用:	⊙オン ○オフ		
	Rawi設定:	のオンのオフ		
	双方向を使用	⊙オン ○オフ		
	urroz(#0)	071077		

9. いったん本製品の主電源スイッチを切り、10秒待ってから再び主電源スイッチを入れてください。

🕛 重要

設定を有効にするには、本製品の再起動が必要です。

以上で、電子メールを送信するための設定が完了しました。

次に「宛先を登録する(電子メールアドレス)」(→ P.83)に進んでください。

宛先を登録する(電子メールアドレス)

送信先の電子メールアドレスを本製品に登録します。

1. リモート UI を起動し、管理者モードでログインします。

∕∕∕メモ

リモート UI の起動方法については、「リモート UI の起動方法」(→ P.19)を参照してください。

2. [アドレス] をクリックし、メニューから [ワンタッチダイヤル] または [短縮ダイヤル] を選択します。



∕⊘メモ

[ワンタッチダイヤル]または [短縮ダイヤル] に宛先を登録すると、本製品の操作パネルのワン タッチダイヤルキーまたは [短縮] キーを使用して、電子メールを送信することができます。

3. [未登録] をクリックします。

(D) (A) http://192.168.222	58/ when here (Orien1		
m	🖺 MF4680		
2	ロンクルチダイヤリ		
H120-90	X		
管理者モード	an miles	通信の種類	接线先
デバイス			
ジョブ	<u>∞ ■ 未登録</u>		
ワンタッチダイヤ	00 日 未登録		
ル 短編ダイヤル	○ <u>未登録</u>		
初期設定/登録	05 日 未登録		
管理者へメール			
	07 日 未登録		
	06 日 木豆球		
	2		

4. [通信の種類]から[電子メール]を選択します。

∰ リモートUI <アドレス> : : 1	92.168.222.58 - Microsoft Internet Expl	orar		- ØX
ファイル(E) 編集(E) 表示(2)	お気に入り(金) ツール(1) ヘルブ(13)			Ry
GRD . C . N S (
アドレス(D) 創 http://192168.2	258/jeditjadrs.html?dn=1			≥ 副移動 リンク **
рада-ал Калана Калана Сала	■ 新規総称クロ日 通信の利 (学子・A) 予告 予告 メールアドレス: 2			

5. 以下を入力します。



 ①名前(任意):
 送信先の名前を入力します(半角カタカナ、英数字で最大 16文字)。入力した名前が宛先表に表示されます。
 ②メールアドレス(必須):
 送信先の電子メールアドレスを入力します。ここでは、テ スト用に自分の電子メールアドレスを入力してください。 **6.** 設定内容を確認したら、[OK] をクリックします。



以上で、宛先の登録が完了しました。

次に「電子メールを送信する」(→ P.90) に進んでください。

宛先の登録内容を表示/修正するには

登録した内容に間違いがあった場合は以下の手順で修正します。

1. 宛先の登録内容を表示するには、宛先の名前をクリックします。

③リモートUI <アドレス>::19 つい(1)(1) (第101) (1)(1)(1)	92.168.222. #/TC-2.0/4	58 - Microsoft Interne	t Explorer		_ # X
0.85 - 0 - 3 2 4	Par	2 1986230 @ @+ &	. III - □ 41.		
7FLAD Ahrps//192168.222	2.58/jødrs.html	Pdr=1			1845
2		/F4680			\$?
HURA-UA	×				
管理者モード	94 3H	54	語信の種類	推动死	
デバイス	01 🗉	user_name	電子メール	account2@organization.company.com	
ジョブ	<u>02</u> 🖬	1.52.15			
アドレス	<u>ca</u> 🔳	未登録			
= ワンタッチダイヤ 上	<u>04</u> 🔳	未登録			
 三 短縮ダイヤル 初期設定/登録 	<u>05</u> 🔳	未登録			
	<u>06</u>	未登録			
▶ 管理者へメール	<u>07</u> 🔳	未登録			
	08 🖬	未登録			
	8				

宛先の登録内容が表示されます。

2. 登録内容を修正したい場合は、[編集]をクリックします。

通りモートUI <アドレス> :: 192.16 ファイル① 編集① 表示① お知	8.222.58 - Microsoft Internet Explorer にんり(タ) シールロ ヘルブの		. ØX
GRO.O.NEGP	秋東 会お死に入り ④ ②• 🍇 🏢 - 🗆 📖		
アドレス(D) 🗃 http://192168.222.58/ pt	op_edra.html?dm1		✓ 🛃 846
	2		_
60	MF4680		3
	5		
~	◎ ◎ 宛先の詳細情報		
103M-0A	5-05-0-1-0-15-1R		
管理者モード			
	番号:	01	
デバイス	通信の種類	電子メール	
932	名称: 雪えノーリアの フ	user_name	
7522	電子メールアドレス:	account2@organization.company.com	
10000000000000000000000000000000000000			
- <u>決路好イヤル</u>			
WINNES AND			
▶ <u>管理者へメール</u>			
道」ページが表示されました			120-201

3. [宛先の編集] 画面で修正したい項目を設定します。



4. 内容を確認したら、[OK] をクリックします。

通りモートUI <アドレス> : : 19	2.168.222.58 – Microxoft Internet Explorer		- @ X
7H100 MORE 200	8902A9(8) 9-8(0) A87(8)	8	AU.
7EL3(D) A http://102168202F	3/ att atr bir bird	u.	ET 646
2	2 宛先の編集		
FURN-UN	通信の種類:電子メール		
管理者モード	01 電子メール		
デバイス	名前:	user_name	
ショス	メールアドレス :	account2@organization.company.com	
= <u>722295547</u>	2		
正 = 短編年4年ル 初期設定/登録			
▶ 管理者へメール			
(4) ページが表示されました		 ● インターネット 	

登録した宛先を削除するには

1. 削除したい名前の左にあるチェックボックスを選択し、[※] をクリックします。 宛先が削除されます。

勤 リモートUI <アドレス> : : 1	92.168.222	.58 - Microxoft Interne	t Explorer		- ax
ファイル(E) 編集(E) 表示(2)) お気に入り(4	B 7-110 117B			At .
G #5 · O · N 2 (☆ ♪ 株常	会お死に入り ④ 〇・ 島	· III - 🗆 🛍		
アドレス(D) 創 http://192168.23	22.58/_adrs.htm	Pdn=1			 一 日 4時
Ŷ۵		/F4680 タッチダイヤル			\$?
FORK-SA	Ø				
管理者モード	-	5.H	語信の種類	1935.	
デバイス	(HE	user_name	電子メール	account2@organization.company.com	
ジョブ	02 10	未登録			
アドレス	<u>ca</u> 🖬	未登録			
 ワンタッチダイヤ 北 	<u>04</u> 🖬	未登録			
三 短縮ダイヤル 初期設定/登録	<u>05</u> 🖬	未登録			
	<u>06</u> 🖬	未登録			
▶ 管理者へメール	07 🖬	未登録			
	<u>08</u> 🖬	<u>未登録</u>			
	I				
ญ					😰 インターネット

∕⊘メモ

いったん削除した宛先は元に戻せません。

電子メールを送信する

登録した宛先に電子メールを送信してみましょう。 正しく設定できていれば、スキャンした文書がファイルとして電子メールに添付され、送信先に 送られます。

∕⊘メモ

添付されるファイル形式の初期値は、PDF ファイルに設定されています。

原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。
 複数原稿をスキャンする場合は、ADF を使ってスキャンしてください。



2. [送信/ファクス] を繰り返し押して、<デンシメール:カラー>または<デンシメール: シロクロ>を選択し、[OK] を押します。

∕⊘メモ

本製品がスリープモードの状態になっている場合、LCD ディスプレイには何も表示されず、[節電] キーがグリーンに点灯しています。その場合、[節電]キーを押し、スリープモードから復帰させて ください。



- <デンシメール:カラー>: カラー画像のファイルが添付された電子メールを送信し ます。
- <デンシメール:シロクロ>: 白黒画像のファイルが添付された電子メールを送信し ます。

3. 宛先を登録したワンタッチダイヤル (01 ~ 08)、または短縮ダイヤル (000 ~ 191) を選択します。

「宛先を登録する(電子メールアドレス)」(→ P.83)で登録したワンタッチダイヤル、また は短縮ダイヤルの番号を選択してください。

● ワンタッチダイヤルに登録した場合

ワンタッチダイヤルキー(01~08)を押します。



● 短縮ダイヤルに登録した場合
 [短縮]を押し、テンキーを使って3桁の番号(000~191)を入力します。



4. [スタート] を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、[◄-] または [+▶] を押して原稿サイズを選択し、[OK] を押します。



∕⊘メモ

ファイル形式や解像度などを詳細に設定したい場合は、[スタート]の前に[OK]を押します。文書の読み込み設定の詳細については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合編) 「第4章送信と受信『読み込み設定』『画像/原稿の設定を調節する(電子メール/ファイルサーバ送信)』」を参照してください。

5. 原稿が読み込まれ、電子メールで送信されます。

電子メールの受信を確認するには

送信した電子メールが正しく受信できているかどうか、電子メールソフトを使用して確認してみ ましょう。

正しく受信できている場合は、本製品から電子メールが届きます。送信者欄には、本製品に登録 されているユーザ略称が表示されます。



∕⊘メモ

- ユーザ略称が本製品に登録されていない場合、送信者欄には P.79 の②で登録した電子メールアドレス が表示されます。
- ユーザ略称、電子メールアドレスのどちらも登録されていない場合、送信者欄には何も表示されません。
- ユーザ略称の登録方法については、スタートアップガイド「発信元の情報を登録する」を参照してください。
- ・電子メールには、スキャンした原稿がファイルとして添付されています。
- •ファイルは、0001_0001から連続した番号のファイル名で添付されます。

● 電子メールを受信できない場合

- 今まで行ってきた設定が正しいかどうか、再度確認してください。
- エラー送信レポートがプリントされた場合は、エラーコードから原因を調べることができます。詳しくは「困ったときには」の「エラー送信レポートがプリントされた」(→ P.108)を参照してください。

電子メールを受信するには

プロバイダが電子メール送信時の認証方式に POP before SMTP を採用している場合、または、本 製品で電子メールを受信する場合は、本製品の電子メール受信機能を設定する必要があります。 設定には、以下の情報が必要です。

∕⊘メモ

- 現在使用している電子メールアカウントを本製品に設定すると、ふだん使っている電子メールソフトではなく、本製品がメールを受信してしまうことがあります。そのため、本製品の電子メール受信機能を使用する場合は、現在使用している電子メールアカウントとは別に、本製品用の電子メールアカウントを設定する必要があります。電子メールアカウントの追加発行については、契約しているインターネットプロバイダ、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本製品が受信できる電子メールは、添付ファイルのないテキスト形式の電子メールです。HTML形式の 電子メールは受信できません。

<本製品の設定項目>

POP サーバ	電子メールを受信する際に使用するサーバアドレスです。SMTP サーバアドレスと同じ場合もあります。
POP アドレス	電子メールを受信する際に必要なアカウントです。電子メールア カウント、またはメール ID と呼ぶこともあります。
POP パスワード	電子メールを受信する際に必要なパスワードです。

メモ欄

POP サーバ	
POP アドレス	
POPパスワード	

P.81 のリモート UI の画面で上記の各項目を設定します。

電子メールソフト(Outlook Explress 6.x)で各情報を確認するには、P.11 の手順で [< アカウン ト名 > のプロパティ]画面を表示し、以下の箇所を参照してください。





Scan to USB 機能を 使ってみよう

Scan to USB 機能の使用には、ネットワークの設定は必要ありません。データを保存した USB メ モリをお使いのパソコンに接続すれば、複雑なネットワークの設定をすることなく、スキャンし た文書を簡単にパソコンに取り込むことができます。

Scan to USB 機能を使用する前に

ファイルシステムが FAT16 (最大容量 2GB)、または FAT32 (最大容量 8GB) でフォーマットされた USB メモリをご用意ください。

ただし、以下のような USB メモリ、または使用方法はサポートしていませんので、ご注意ください。

- セキュリティ機能付きの USB メモリ
- USB 規格に準拠していない USB メモリ
- メモリカードリーダを USB メモリとして使用
- 延長ケーブルで接続した USB メモリ
- USB ハブを経由した USB メモリ
- その他、上記以外でも、お使いの USB メモリによっては画像を正しく保存できないことがあります。

USB メモリに文書を保存する

USB メモリにスキャンした文書をファイルとして保存する手順は、以下のとおりです。

∕⊘メモ

保存されるファイル形式の初期値は、PDF ファイルに設定されています。

1. USB メモリを本体前面の USB メモリポートに接続します。



🕛 重要

USB メモリを USB メモリポートに接続する際には、まっすぐ差し込んでください。斜めに差し込ん だり、USB 規格に準拠しない形状の USB メモリを差し込んだりすると、USB メモリポートが破損す る可能性があります。

2. 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。 複数原稿をスキャンする場合は、ADF を使ってスキャンしてください。



3. [送信/ファクス]を繰り返し押して、<USBメモリ:シロクロ>または<USBメモリ: カラー>を選択し、[OK]を押します。

∕∕∕メモ

本製品がスリープモードの状態になっている場合、LCD ディスプレイには何も表示されず、[節電] キーがグリーンに点灯しています。その場合、[節電]キーを押し、スリープモードから復帰させて ください。



< USB メモリ:カラー>: カラー画像のファイルを USB メモリに送信します。 < USB メモリ:シロクロ>: 白黒画像のファイルを USB メモリに送信します。

4. [スタート] を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、[◀━] または [+▶] を押して原稿サイズを選択 し、[OK] または [スタート] を押します。



∕⊘メモ

ファイル形式や解像度などを詳細に設定したい場合は、[スタート]の前に[OK]を押します。文書の読み込み設定の詳細については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合編) 「第5章プリントとスキャン『USB メモリにスキャン画像を保存する』『読み込み設定』」を参照して ください。 **5.** <ホゾンシマシタ/USBメモリヲ ヌクコトガデキマス>が表示されたら、USBメモリを 本製品から抜きます。

Ø メモ

USB メモリにファイルを保存できなかった場合は、<カキコミニ シッパイシマシタ/メディアヲ カクニンシテクダサイ>と表示されることがあります。この場合、セキュリティ機能付きの USB メモリなどを使用していないか確認してください。本製品で使用可能な USB メモリについては、 「Scan to USB 機能を使用する前に」(→ P.97)を参照してください。

- **6.** USB メモリを、お使いのパソコンの USB ポートに接続します。
- **7.** USB メモリにファイルが保存されているか確認します。

エクスプローラなどを使用して、USBメモリのルートディレクトリを開くと、スキャンした 文書がファイルとして保存されています。



∅ メモ

ファイルは、0001_0001から連続した番号のファイル名で保存されます。

● ファイルが保存されない場合

- ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージから原因を調べることができます。エラーメッセージの詳細については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合編)「第 10 章困ったときには『ディスプレイの表示』」を参照してください。
- エラー送信レポートがプリントされた場合は、エラーコードから原因を調べることができます。詳しくは「困ったときには」の「エラー送信レポートがプリントされた」(→ P.108)を参照してください。

困ったときには

ネットワークに接続できない

通信速度、通信方式の設定は正しいですか?

接続するルータやハブによっては、本製品の通信速度、通信方式の設定が必要になることがあり ます。設定方法については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合編)「第6 章ネットワーク『ネットワーク環境で使用するために必要な作業』『インタフェースの設定』」を 参照してください。

リモート UI を起動できない

アドレスバーに入力した IP アドレスは正しいですか?

DHCP で本製品に IP アドレスを割り当てている場合、本製品やルータ(DHCP サーバ)を再起動 すると、本製品に割り当てられる IP アドレスが変わってしまうことがあります。 そのため、ウェブブラウザのアドレスバーに以前入力した IP アドレスを入力しても、リモート UI を起動できないことがあります。このような場合は、以下を試してみてください。

- ・ P.15 の手順で本製品の IP アドレスを確認し、その IP アドレスをウェブブラウザのアドレス バーに入力してリモート UI を起動する。
- ・DHCP環境下でも本製品に割り当てるIPアドレスを固定するように、ルータ(DHCPサーバ)の設定を変更する。 お使いのルータによっては、DHCP環境下でもIPアドレスを固定できる「手動割り当て」機能や「固定割り当て」機能など(ルータのメーカによって機能名は異なります)を持つものがあります。この機能を使用すると、本製品の再起動後もIPアドレスが変わらないようにすることができ、本製品を起動するごとにIPアドレスを確認する必要がありません。設定方法については、ルータのマニュアルを確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

電子メールを送信したが、送信先で受信できない

本製品に登録した送信先の電子メールアドレスは正しいですか? ピリオドなどが正しく入っているか、登録した電子メールアドレスを確認してください。

電子メールの設定を忘れてしまった

SMTP サーバアドレス、POP サーバアドレスの設定を忘れた場合は、お使いの電子メールソフト を使用して設定を確認することができます。詳細については「電子メールアカウントを確認す る」(→ P.11)を参照してください。

本製品のディスプレイにエラーメッセージが表示された

ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、エラーメッセージから原因を調べることができます。エラーメッセージの詳細については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガイド(総合編)「第 10 章困ったときには『ディスプレイの表示』」を参照してください。

共有フォルダにファイルを保存できない

共有フォルダの設定を正しく行っていても、共有フォルダにファイルを保存できない場合は、以下の設定を確認してください。

NetBIOS over TCP/IP を有効にする

NetBIOS over TCP/IP はファイル共有を使用するために必要なプロトコルです。 NetBIOS over TCP/IP が無効になっていると、ファイル共有ができない場合があります。 この場合、以下の手順で NetBIOS over TCP/IP を有効にします。

● Windows XP の場合

- 1. [スタート] メニューの [マイネットワーク] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- 2. [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- **3.** [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をダブルクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面を表示します。
- 4. [全般] ページの [詳細設定] ボタンをクリックし、[TCP/IP 詳細設定] 画面を表示します。
- **5.** [WINS] タブをクリックし、[WINS] ページを表示します。

6. [NetBIOS over TCP/IP を有効にする]を選択します。

TCP/IP 詳細設定
IP 設定 DNS WINS オプション
WINS アドレス (使用順)(W):
t
\$
追加(為) 編集(E) 育時余(公)
LMHOSTS の参照が有効になっている場合、TCP/IP が使用可能になっている接続すべてに適用されます。
✓ LMHOSTS の参照を有効にする(L) LMHOSTS のインポート(M)
_NetBIOS 設定
○ 既定値(E): DHCP からの NetBIOS 設定を使用します。静約 IP アドレスが使用されてい る場合、または DHCP サーバーが NetBIOS 設定を提供しない場合は、 NetBIOS over TCP/IP を有ちがこします。
● NetBIOS over TCP/IP を有効にする(W) ● NetBIOS over TCP/IP を有効にする(W)
 OK キャンセル

- 7. [OK] ボタンを繰り返しクリックし、画面を閉じます。
- 8. 必要に応じてパソコンを再起動します。

● Windows Vista の場合

- 1. [スタート] メニューの [ネットワーク] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- 2. [ネットワーク接続の管理]をクリックします。
- 3. [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

- **4.** [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] をダブルクリックし、[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4) のプロパティ] 画面を表示します。
- 5. [全般] ページの [詳細設定] ボタンをクリックし、[TCP/IP 詳細設定] 画面を表示します。
- **6.** [WINS] タブをクリックし、[WINS] ページを表示します。

 [✓] メモ
 Windows Vista で [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[続行] ボタンをクリック してください。

7. [NetBIOS over TCP/IP を有効にする]を選択します。

TCP/IP 詳細設定	? X
IP 設定 DNS WINS	
- WINS アドレス (使用順)(型):	
	t
	Ĵ
追加(<u>A)</u> 編集(<u>E</u>) 削除(<u>V</u>)	
LMHOSTS の参照が有効になっている場合、TCP/IP が使用可能になってい てに適用されます。	る接続すべ
✓ LMHOSTS の参照を有効にする(L) LMHOSTS のインオ	°−⊦(<u>M</u>)
NetBIOS 設定 ● 既定値(E): DHCP がらの NetBIOS 設定を使用します。静約 IP アドレスが使用 る場合 まだけ DHCP サーバーが NetBIOS 設定を提供したい場合	きれてい
NetBIOS over TCP/IP & fath(:1.23) NetBIOS over TCP/IP & fath(:1.23) NetBIOS over TCP/IP & fath(:1.23)	
ОК	キャンセル

- 8. [OK] ボタンを繰り返しクリックし、画面を閉じます。
- 9. 必要に応じてパソコンを再起動します。

Windows ファイアウォールについて

Windows XP に Service Pack 2 がインストールされている場合や Windows Vista をお使いの場合、 Windows ファイアウォールを有効にすると、設定によってはファイル共有を使用できないこと があります。

この場合、以下の手順でファイル共有を使用できるようにしてください。

● Windows XP Service Pack 2 の場合

1. [スタート] メニューの [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] 画面を表示します。

2. 「セキュリティセンター」をクリックし、 [セキュリティセンター] 画面を表示します。



- **3.** [セキュリティ設定の管理] の [Windows ファイアウォール] をクリックし、[Windows ファイアウォール] 画面を表示します。
- 4. [例外を許可しない] にチェックマークが付いている場合は、チェックマークをはずします。



5. [例外] タブをクリックして、[例外] ページを表示します。

6. [プログラムおよびサービス]の[ファイルとプリンタの共有]にチェックマークが付いていない場合は、チェックマークを付けます。

参 Windows ファイアウォール	×
全般例外詳細設定	
入力方向のネットワーク接続は、下で運択されたプログラムおよびサービスのためのものを除い Windows フィノアウォールでプロックされています。例外として追加することにより、プログラムに は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。	Ĵaσ
プログラムおよびサービス(P):	
名前	^
☑ Windows Media Connect	
Windows Media Connect	
Windows Media Connect	
Windows Media Connect	_
TWindows Media Connect	-
マファイルとプリンタの共有	
ロリモート デスクトップ	_
プログラムの追加(B) ポートの追加(Q) 編集(E) 削除(D)	
✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する(N)	
例外を許可することの危険の詳細を表示します。	
OK ++	ンセル

7. [OK] ボタンをクリックして、[Windows ファイアウォール] 画面を閉じます。

● Windows Vista の場合

- **1.** [スタート] メニューの [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] 画面を表示します。
- **2.** [セキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックし、 [Windows ファイアウォール] 画面を表示します。
3. [全般] ページで [すべての着信接続をブロックする] にチェックマークが付いている場合 は、チェックマークをはずします。



- 4. [例外] タブをクリックして、[例外] ページを表示します。
- **5.** [プログラムまたはポート]の[ファイルとプリンタの共有]にチェックマークが付いていない場合は、チェックマークを付けます。

Windows ファイアウォールの設定 Image: ■ Image: Ima	3
全般例外詳細設定	
例外を使用して、Windows ファイアウォール経由でプログラムが通信する方法を制御します。ファイ アウォール経由の通信を許可するには、プログラムまたはボートの例外を追加してください。	
Windows ファイアウォールには、現在 プライベート ネットワークの場所の設定が使用されています。 プログラムのプロッグを解除するとどのような記録使用がありますが。	
例外を有効にするには、チェックホック人をオンにしてくたさい(_):	
プログラムまたはポート ^	
□ Windows ミーティング スペース	
□ Windows リモート管理	
▶ コア ネッドノーク	
●ファイルとプリンタの共有	
<u></u>	
ロリモート イベントのログ管理	
ロリモートサービス管理	
□リモート ホリューム管理	
☑ Windows ファイアウォールによる新しいプログラムのブロック時に通知を受け取る(B)	
	J

6. [OK] ボタンをクリックして、[Windows ファイアウォール] 画面を閉じます。

エラー送信レポートがプリントされた

何らかの原因でファイルサーバへの送信、電子メール送信、USBメモリへの保存ができなかった 場合は、エラー送信レポートがプリントされます。 エラー送信レポートには、下記のように4桁のエラーコードが記載されています。

2007 12/31 10:50 FAX 123XXXXXX	CANON	a 0001

次の送信はエラー終	子しました	
受付番号 部門10 相手先7ト [*] レス 相手先略称 開始時刻 通信時間 枚数 通信結果	0005 0000001 111XXXXX account2@organization.comapny.com 12/31 10:50 00'00 0 NG # 0802	
	エラーコード	

各エラーコードの原因と対処は、以下の表を参照してください。 「種類」欄のアイコンは、エラーコードを機能別に示したものです。

- F :Scan to ファイルサーバ機能関連のエラー
- EI:Scan to E-Mail 機能関連のエラー
- U]:Scan to USB 機能関連のエラー

∕⊘メモ

- 表中の設定項目([SMTP サーバ]や[POP パスワード]など)は、リモート UIの [ネットワーク設定 画面]または[システム管理設定の編集]画面で確認ができます。
- 「ネットワーク設定」画面を表示するには、リモート UI を起動し、「デバイス」→ 「ネットワーク」→
 「変更」の順にクリックします。
- [システム管理設定の編集] 画面を表示するには、リモート UI を起動し、[初期設定/登録] → [シス テム管理] → [編集] の順にクリックします。
- ・ リモート UI の起動方法については、「リモート UI の起動方法」(→ P.19)を参照してください。
- 本書では、Scan to ファイルサーバ機能、Scan to E-Mail 機能および Scan to USB 機能に関するエラー コードを記載しています。その他のエラーコードについては、製品付属の CD-ROM に収録されている 操作ガイド(総合編)「第 10 章困ったときには『エラーコード』」を参照してください。

エラー コード	· 種類 原因 如置 2000 如置		処置
#0401	U	USB メモリのデータ容量がいっぱ いか、ルートディレクトリ(USB メモリ内の一番上の階層)に保存 できるファイル数が上限値に達し ました。	USBメモリ内の不要なファイルを削除する、またはフォルダを作成して 既存のファイルを移動するなどし て、ルートディレクトリ上のファイ ルを整理してください。
#0403	U	保存するスキャン画像と同じ名前 のファイルが、USB メモリ内に存 在しています。	USB メモリ内にあるファイル名を変 更してください。
#0406		USB メモリにスキャン画像を保存 する際に、何らかのエラーが発生 しました。原因として USB メモリ が抜けた、または接続している USB メモリがサポート外のファイ ルシステムでフォーマットされて いる可能性があります。	USB メモリが正しく接続されている か、USB メモリが本製品で対応して いるファイルシステム(FAT16 また は FAT32)でフォーマットされてい るかを確認してください。確認後、 もう一度操作をしてみてください。
#0703	FE	メモリの画像領域がいっぱいにな り、書き込みできません。	 ファクスを送信中の場合は、送信 ジョブが終了するまでしばらく待ち、もう一度送信してみてください。 メモリに保存されているジョブを 削除してください。ジョブの削除 方法については、製品付属のCD- ROM に収録されている操作ガイド (総合編)「第4章送信と受信『メ モリ内の送受信ジョブを確認/操 作する』『送受信中または送信待機 中のジョブを確認/削除する』」 を参照してください。 それでも正常に動作しない場合は、本製品の主電源スイッチを入れなおしてください。

エラー コード	種類	原因	処置
#0705		画像データサイズが送信データサ イズ上限値よりも大きいため、送 信処理を中断しました。	 リモート UI を起動して [システム 管理設定の編集] 画面を表示し、 [通信管理設定] の [電子メール設 定] を以下のように設定してくだ さい。 [送信データサイズ上限値] の 値を高く設定しなおしてくださ い。 [サイズ上限オーバー時の分割 送信する] にチェックマークを 付けて、画像データを分割する ように設定してください。 低解像度で送信しなおしてくださ い。設定については、製品付属の CD-ROM に収録されている操作ガ イド(総合編)「第4章送信と受信 『読み込み設定』『画像/原稿の設 定を調節する(電子メール/ファ イルサーバ送信)』」を参照してく ださい。
#0752		- 電子メール/I ファクスの SMTP サーバ名の設定が間違っていま す。	- リモート UI を起動して[ネット ワーク設定]画面を表示し、[電子 メール/ファクス設定]の [SMTP サーバ](→P.79)と、「電 子メールアカウントを確認する」 (→P.11)で確認した SMTP サー バアドレスが合っているか確認し てください。
		 ドメイン名、電子メールアドレスが設定されていません。 	 ーリモートUIを起動して「ネット ワーク設定」画面を表示し、 [TCP/IP設定]の[DNSドメイン 名]が正しく設定されているか確 認してください。 ーリモートUIを起動して「ネット ワーク設定]画面を表示し、「電子 メール/Iファクス設定]の[電子 メールアドレス]が正しく設定さ れているか確認してください。

エラー コード	種類	原因	処置
#0752	E	ーメールサーバが立ち上がってい ません。	 ーメールサーバが正常に動作しているか、ネットワーク管理者に確認してください。
		ーネットワークがつながっていま せん。	 ネットワークが正常に動作しているか、ネットワーク管理者に確認してください。
		ー原稿をカラーで電子メール送信 するときに、何らかのエラーが 発生しました。	 一何度か送信をやりなおしてください。それでも送信できない場合は、ネットワークが正常に動作しているか、ネットワーク管理者に確認してください。
#0753	E	ファイル送信時、または電子メー ルの送信時に TCP/IP でのエラーが 発生しました。(Socket、Select エ ラーなど。)	 ネットワークケーブルとコネクタの状態を確認してください。 [SMB クライアントを使用]が[オン]になっているか確認してください。(→ P.59) 宛先の[ホスト名]が正しく設定されているか確認してください。(→ P.65) [ワークグループ名]が正しく設定されているか確認してください。(→ P.60) 「LM アナウンスを使用」を[オン]に設定してみてください。(→ P.61) Windows ファイアウォールの設定を確認してください。(→ P.104) 上記をすべて確認しても正常に動作しない場合は、本製品の主電源スイッチを入れなおしてください。
#0755	EE	- TCP/IP が正しく動作していない ため送信できません。	 ーリモート UI を起動して [ネット ワーク 設定] 画面を表示し、 [TCP/IP 設定]の各項目が正しく 設定されているか確認してください。

エラー コード	種類	原因	処置
#0755	FE	ーIP アドレスが設定されていませ ん。	 ーリモートUIを起動して [ネット ワーク設定] 画面を表示し、 [TCP/IP 設定]の各項目が正しく 設定されているか確認してください。
		ー本製品の立ち上げ時に、DHCP、 RARP、BOOTP のいずれかで IP アドレスの割り当てが行われて いません。	-本製品が起動してからネットワークに接続するまで約1分かかります。本製品の起動後、1分以上待ってから、もう一度送信してください。
#0801	FE	 電子メールの送信のため SMTP サーバと通信している際に、 メールサーバ側の要因でタイム アウトエラーが発生しました。 	 メールサーバが正常に動作しているか、ネットワークが正常に動作しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
		- SMTP 接続中に SMTP サーバか らエラーが返ってきました。宛 先の設定が正しくありません。	- 宛先の設定を確認してください。
		ーファイルサーバへ送信している ときに、サーバ側の要因でエ ラーが発生しました。	ーファイルサーバが正常に動作して いるかを確認してください。
		 電子メールアドレスの設定が正しくありません。 	- リモート UI を起動して[ネット ワーク設定]画面を表示し、[電子 メール / ファクス設定]の[電子 メールアドレス]が正しく設定さ れているか確認してください。
#0802		- SMTP サーバ名の設定が間違っ ています。	- リモート UI を起動して [ネット ワーク設定] 画面を表示し、 [電子 メール/ファクス設定] の [SMTP サーバ] (\rightarrow P.79) と、「電 子メールアカウントを確認する」 (\rightarrow P.11) で確認した SMTP サー バアドレスが合っているか確認し てください。
		-DNS サーバのドメイン名が間 違っています。	ーリモート UI を起動して[ネット ワーク設定]画面を表示し、 [TCP/IP 設定]の[DNS ドメイン 名]が正しく設定されているか確 認してください。

エラー コード	種類	原因	処置
#0802		-DNS サーバ名の設定が間違って います。	ーリモート UI を起動して[ネット ワーク設定]画面を表示し、 [TCP/IP 設定]の[DNS プライマ リサーバ]と[DNS セカンダリ サーバ]が正しく設定されている か確認してください。
		-DNS サーバとの接続ができませ んでした。	ーDNS サーバが正常に動作している かを、ネットワーク管理者に確認 してください。
#0804	E	フォルダへのアクセス権がありま せん。	宛先に登録したユーザ名とパスワー ドが、パソコン(ファイルサーバ) に登録したユーザアカウント(ユー ザ名とパスワード)と一致している か確認してください。
#0806	FE	 ファイルサーバ送信時に指定されたユーザ名、あるいはパス ワードが間違っています。 	 一宛先に登録したユーザ名とパス ワードが、パソコン(ファイル サーバ)に登録したユーザアカウ ント(ユーザ名とパスワード)と 一致しているか確認してください。
		- 電子メール送信時に指定した宛 先が間違っています。	-登録した電子メールの宛先を確認 してください。
#0810	E	- POP サーバとの接続中に POP サーバからエラーが返ってきま した。	- リモート UI を起動して [ネット ワーク設定] 画面を表示し、[電子 メール / ファクス設定] の [POP サーバ] と、「電子メールを受信す るには」(\rightarrow P.95) で確認した POP サーバアドレスが合っているか確 認してください。
		 – POP サーバとの接続中にサーバ 側の要因でタイムアウトエラー が発生しました。 	 -メールサーバが正常に動作しているか、ネットワークが正常に動作しているかを、ネットーク管理者に確認してください。

エラー コード	種類	原因	処置
#0812		POP パスワードの設定が間違って います。	リモート UI を起動して [ネットワー ク設定] 画面を表示し、[電子メール /I ファクス設定] の [POP パスワー ド] に POP パスワードを正しく入力 してください。 POP パスワードは、契約しているプ ロバイダから発行された設定通知書 などで確認するか、またはネット ワーク管理者に問い合わせてください。
#0813		POP サーバ名の設定が間違ってい ます。	リモート UI を起動して [ネットワー ク設定] 画面を表示し、[電子メール /I ファクス設定] の [POP サーバ] と、「電子メールを受信するには」 (→P.95) で確認した POP サーバアド レスが合っているか確認してください。
#0816	FE	部門 ID に割り当てられている制限 面数以上のスキャンを行いました。	部門 ID に割り当てられている制限面 数の上限を変更するか、またはカウ ント情報を消去してください。設定 については、製品付属の CD-ROM に 収録されている操作ガイド(総合編) 「第8章システム管理設定『部門別 ID 管理を設定する』」を参照してく ださい。
#0819		扱えないデータを受信しました。 (MIME 情報が不正です。)	送信者に、電子メール設定の確認と 再送信を依頼してください。 本製品が受信できる電子メールは、 添付ファイルのないテキスト形式の 電子メールです。HTML形式の電子 メールは受信できません。
#0820		扱えないデータを受信しました。 (BASE64 または uuencode が不正 です。)	送信者に、電子メール設定の確認と 再送信を依頼してください。 本製品が受信できる電子メールは、 添付ファイルのないテキスト形式の 電子メールです。HTML形式の電子 メールは受信できません。
#0821	E	扱えないデータを受信しました。 (TIFF 解析エラーが発生しました。)	送信者に、電子メール設定の確認と 再送信を依頼してください。

エラー コード	種類	原因	処置
#0827	E	扱えないデータを受信しました。 (サポート外の MIME 情報がありま す。)	送信者に、電子メール設定の確認と 再送信を依頼してください。 本製品が受信できる電子メールは、 添付ファイルのないテキスト形式の 電子メールです。HTML 形式の電子 メールは受信できません。
#0828	E	HTML のデータを受信しました。	HTML形式ではなく、テキスト形式 で電子メールを再送信するよう、送 信者に依頼してください。 本製品が受信できる電子メールは、 添付ファイルのないテキスト形式の 電子メールです。HTML形式の電子 メールは受信できません。
#0829	E	メモリの許容量を超えるデータを 受信しました。	メモリに受信した原稿をプリントし てください。そのあと、電子メール を再送信するよう、送信者に依頼し てください。
#0839		SMTP 認証で使用するユーザ名と パスワード設定が間違っています。	- リモート UI を起動して [ネット ワーク設定] 画面を表示し、「電子 メール//ファクス設定] の [SMTP サーバ] (→ P.79) と、「電 子メールアカウントを確認する」 (→ P.11) で確認した SMTP サー バアドレスが合っているか確認し てください。 - リモート UI を起動して [ネット ワーク設定] 画面を表示し、「電子 メール//ファクス設定] の [パス ワード] に SMTP 認証のためのパ スワードを正しく入力してくださ い (→ P.80)。SMTP 認証のための パスワードは、契約しているプロ バイダから発行された設定通知書 などで確認するか、またはネット ワーク管理者に問い合わせてくだ さい。

索引

<u>アルファベット</u>

D

DHCP 8

I

IP アドレス 15

L

LM アナウンスを使用 61,111

Ν

NetBIOS over TCP/IP 102

0

OS 必要な OS(Scan to ファイルサーバ機能)9 必要な OS(リモート UI)18

Ρ

POP before SMTP 10,81 POP アドレス 95 POP サーバ 10 POP サーバアドレス 95 POP パスワード 95

S

Scan to E-Mail 機能 概要 4 設定の手順 6,76 必要な情報 10 Scan to USB 機能 5,97 Scan to ファイルサーバ機能 概要 4 設定の手順 6,21 必要な OS 9 SEND Lite 機能 4, 6, 21, 76 SMB クライアントを使用 59 SMTP サーバ 10, 12, 79 SMTP サーバアドレス 10,12 SMTP 認証 10,80,81 SMTP パスワード 80 SMTP ユーザ名 80

U

USB メモリ 使用可能な USB メモリ 97 文書を保存する 97 USB メモリポート 98

<u>かな</u>

あ

アクセス許可 ネットワークのアクセス許可 46,55 ローカルのアクセス許可 50,55 アクセス制限をしない共有フォルダ 28,30 アクセス制限をする共有フォルダ 29,37 宛先 削除する 69,89 修正する 67,87 選択する 71,92 登録する (電子メールアドレス) 83 登録する (ファイルサーバ) 63 表示する 67,87

う

ウェブブラウザ 18

え

エラーコード 108 エラー送信レポート 108 エラーメッセージ 102

か

カキコミニ シッパイシマシタ/メディアヲ カク ニンシテクダサイ 100 簡易ファイル共有 30,37

き

共有フォルダ アクセス制御をしない共有フォルダ 28,30 アクセス制御をする共有フォルダ 29,37 作成する 30,44,53 パブリックフォルダ 33 必要な機能を確認する 24

Ζ

コメント 61 コンピュータ名 22

さ

サーバ名 59

L

受信手段 75

ち

チェックシート 118

τ

電子メール 受信する 94,95 送信機能を設定する 77 送信する 90 電子メールアカウント 11,95 電子メールアドレス 79 転送機能 74 転送先 75 転送条件 74,75 転送条件名 75

な

名前 電子メール 85 ファイルサーバ 65

に

認証方式 10

ね

ネットワーク環境 7 ネットワークケーブル 14 ネットワーク構成例 7 ネットワークコンポーネント 24,26

は

パスワード POP パスワード 95 SMTP パスワード 13,80 ユーザのパスワード 39,43,65 リモート UI 起動時のパスワード 20 パブリックフォルダ 33

ふ

ファイアウォール 29,104

ファイル形式 75 ファイルサーバ 送信機能を設定する 57 送信する 70 ファイルシステム 49 フォルダへのパス 65 プロトコル 65

ほ

ホスト名 65 ホゾンシマシタ/ USB メモリヲ ヌクコトガデキ マス 100

め

メール ID 95 メールアドレス 85

ゆ

ユーザーアカウント制御 26, 41, 54 ユーザーアカウントの作成 (Windows Vista) 41 ユーザーアカウントの作成 (Windows XP) 37 ユーザ名 SMTP サーバのユーザ名 13, 80 アカウントのユーザ名 38, 42

り

リモート UI 起動方法 19 使用する 18 必要な環境 18

わ

ワークグループ名 60

チェックシート

本製品の IP アドレスや SEND Lite 機能の設定に必要な情報は、忘れないようにメモしておきましょう。

リモートリ	
本製品の IP アドレス (→ P.17)	
Scan to ファイルサーバ機能	
コンピュータ名 Windows XP: (→ P.22) Windows Vista: (→ P.23)	
共有フォルダ名 Windows XP: (→ P.30、P.44) Windows Vista: (→ P.36、P.53)	
ユーザ名 Windows XP: (→ P.38) Windows Vista: (→ P.42)	
パスワード Windows XP: (→ P.40) Windows Vista: (→ P.43)	
Scan to E-Mail 機能	
SMTP サーバアドレス (→ P.12)	
認証方式 (→P.10、P.13)	 □POP before SMTP 認証 □SMTP 認証 • SMTP ユーザ名: • SMTP パスワード: * 認証方式が POP before SMTP の場合は、電子メール受信 機能の設定が必要になります。電子メール受信機能の設 定については、「電子メールを受信するには」(→ P.95) を参照してください。





販 売 先

使用しています。 本書は揮発性有機化合物(VOC) 電話番号 ゼロのインキを使用しています。

担当部門

担 当 者

	サービ	ス担当者	連絡先	
販 売 店				
電話番号				
担当部門				
 担 当 者				



お客様相談センター (全 国 共 通 番 号)

050-555-90024

 [受付時間] 〈平日〉9:00~20:00 〈土日祝祭日〉10:00~17:00 (1/1~3は休ませていただきます)
 ※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
 ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6